

香芝市総合戦略策定に向けた
まちづくりにかかる市民アンケート調査
【結果報告書】

平成27年8月
香芝市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	2
3 報告書の見方.....	2
II. 調査結果	3
1 回答者について.....	4
2 香芝市のまちづくりについて.....	15
3 就職・転職について.....	29
4 出産・子育てについて.....	34
5 アンケート調査（総合戦略関係分）のまとめ.....	51

I . 調査の概要

1 調査の目的

国では平成 26 年度に「まち・ひと・しごと創生本部」が設置され、人口減少の克服と地域活性化による地方創生の取組がスタートしており、本市においても、「香芝市まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、国の人口ビジョンや総合戦略をふまえ、香芝市版の総合戦略の策定を進めています。この香芝市版の総合戦略を策定するにあたり、市民の意見を反映させるため、平成 27 年 6 月 1 日時点で香芝市内在住の 16 歳以上の男女 2,000 人を無作為に抽出し、市民アンケートを実施しました。

2 調査概要

- 調査地域：香芝市全域
- 調査対象者：香芝市内在住の 16 歳以上の男女 2,000 人
- 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- 調査期間：平成 27 年 7 月 10 日（金）～平成 27 年 7 月 24 日（金）
- 調査方法：郵送配布・郵送回収

調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
2,000	838	41.9%

3 報告書の見方

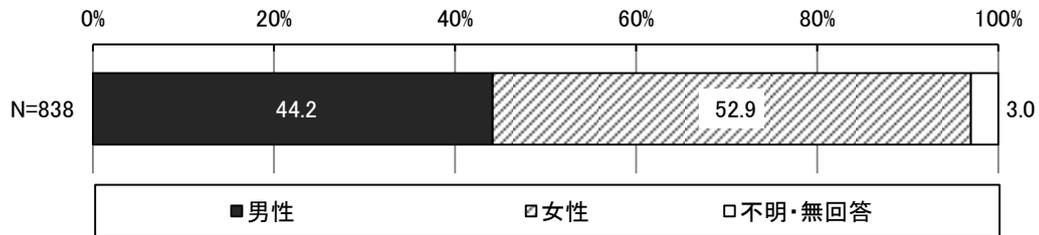
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 図表中において、回答のなかった選択肢については、「0.0%」という表記を省いている場合があります。
- 全国との比較については、国立社会保障・人口問題研究所「第 14 回出生動向基本調査(2010 年)」における同様の設問との比較をしています。この調査は、対象者が 50 歳未満で、夫婦対象の調査については妻のみを回答者としている等、本調査の方法と若干異なる部分がありますが、全国的な状況と比較対照できるデータとして、可能な限り回答者の属性を一致させられるデータについて紹介しています。

II. 調査結果

1 回答者について

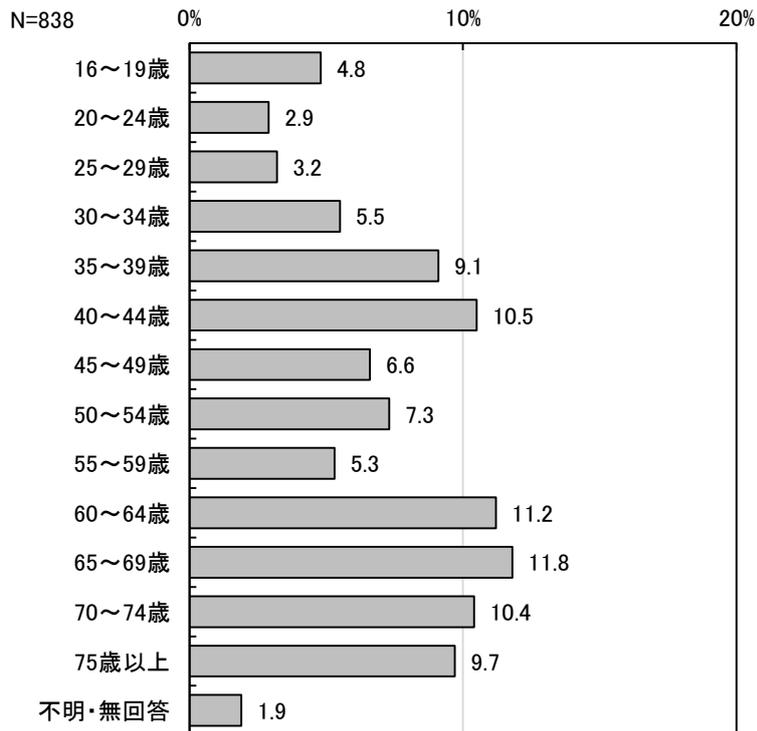
(1) 回答者の性別〈単数回答〉〔問1 性別をお答えください。(1つに〇)〕

回答者の性別についてみると、「男性」が44.2%、「女性」が52.9%となっています。



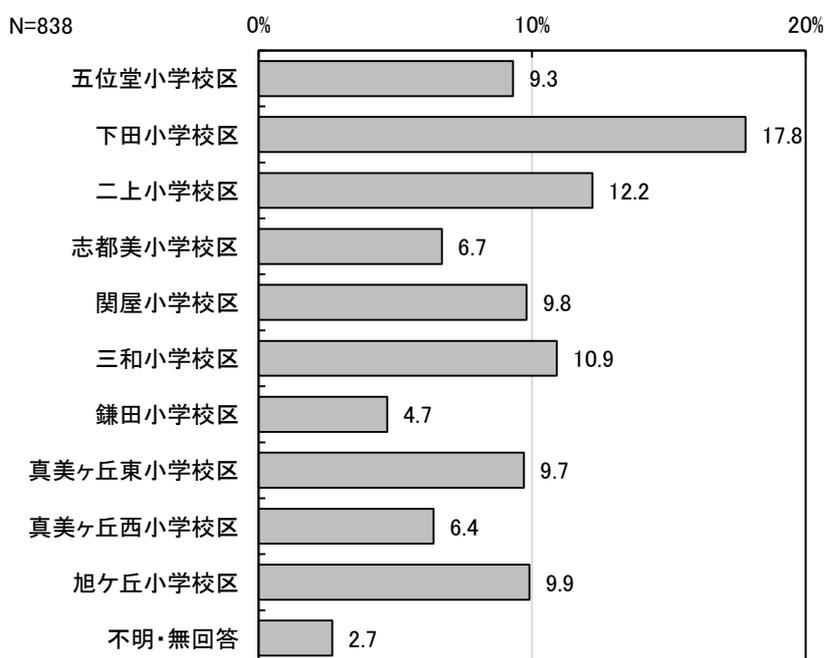
(2) 回答者の年齢〈単数回答〉〔問2 年齢をお答えください。(1つに〇)〕

回答者の年齢についてみると、「65～69歳」が11.8%で最も高く、次いで「60～64歳」が11.2%となっています。



(3) 回答者のお住まいの小学校区〈単数回答〉〔問3 お住まいの小学校区をお答えください。(1つに〇)〕

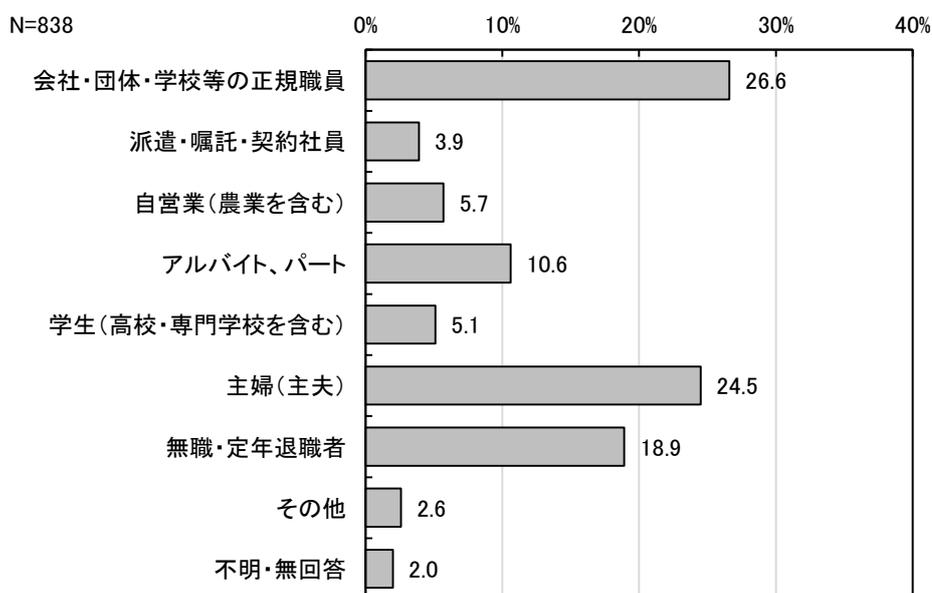
回答者のお住まいの小学校区についてみると、「下田小学校区」が17.8%で最も多く、次いで「二上小学校区」が12.2%、「三和小学校区」が10.9%となっています。



(4) - 1. 回答者の主な職業〈単数回答〉〔問4 主なお仕事をお答えください。(1つに〇)〕

回答者の主な職業についてみると、「会社・団体・学校等の正規職員」が26.6%で最も高く、「派遣・嘱託・契約社員」「自営業（農業を含む）」「アルバイト、パート」も含めた就労者の割合は、全体の46.8%となっています。

一方、「主婦（主夫）」は24.5%、「無職・定年退職者」は18.9%、「学生（高校・専門学校を含む）」は5.1%となっています。

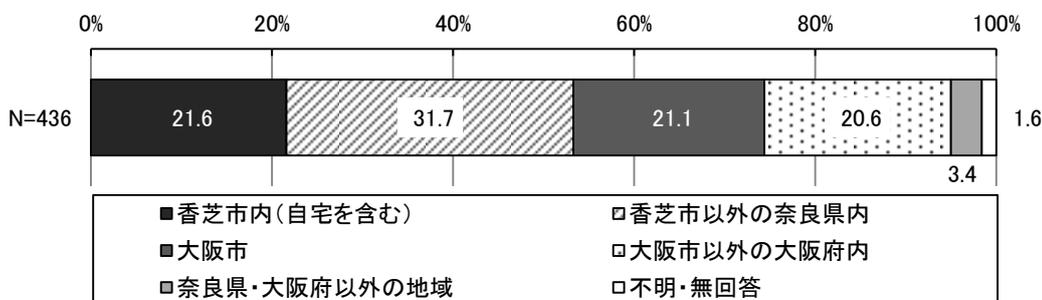


現在就労・就学している方（問4で「1.」～「5.」を選んだ方）

（4）－2. 主な就業地・通学地〈単数回答〉

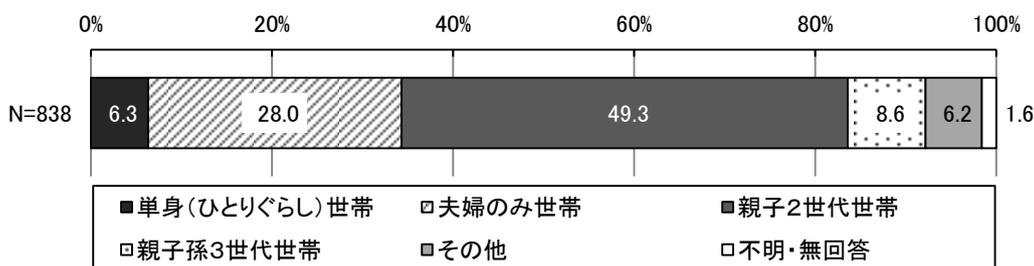
〔問4 主な就業地または通学地をお答えください。（1つに○）〕

就労者・就学者の主な就業地・通学地についてみると、「香芝市以外の奈良県内」が31.7%で最も高く、次いで「香芝市内（自宅を含む）」が21.6%、「大阪市」が21.1%、「大阪市以外の大阪府内」が20.6%となっています。



（5）回答者の家族構成〈単数回答〉〔問5 家族構成をお答えください。（1つに○）〕

回答者の家族構成についてみると、「親子2世代世帯」が49.3%で最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が28.0%となっています。

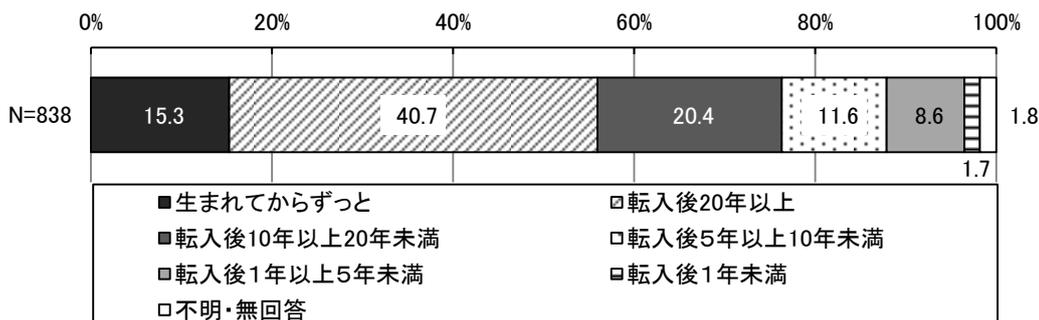


（6）回答者の香芝市での居住年数〈単数回答〉

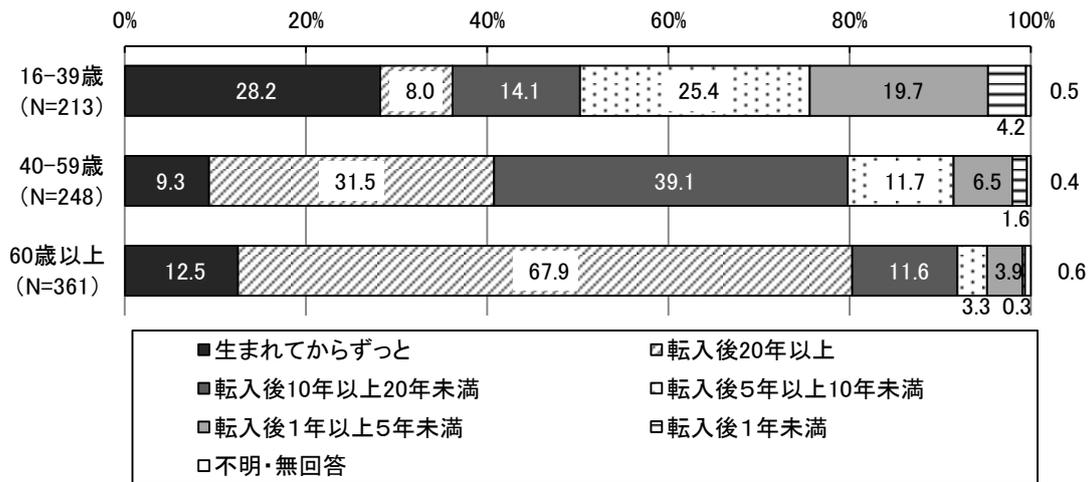
〔問6 あなたは香芝市に何年お住まいですか。（1つに○）〕

回答者の香芝市での居住年数についてみると、「転入後20年以上」が40.7%で最も高く、次いで「転入後10年以上20年未満」が20.4%となっています。

年齢別にみると、40歳以上の世代では「生まれてからずっと」は1割前後となっており、親元を離れていない若い世代を除けば、本市の住民の大多数は市外からの転入経験者が占めていると考えられます。



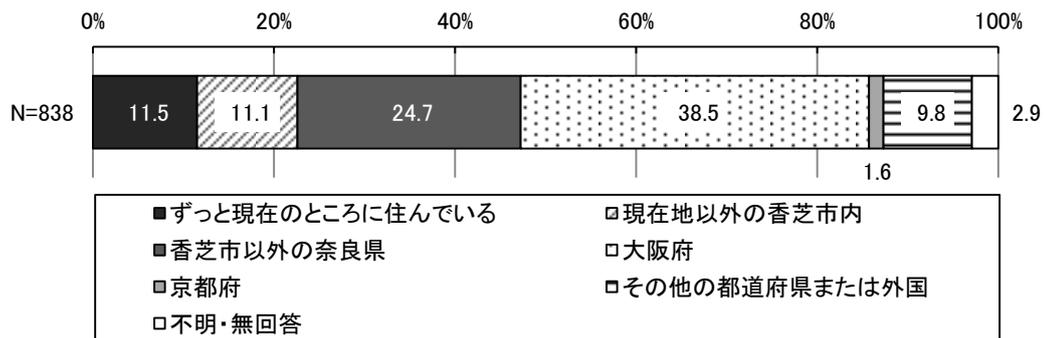
年齢別にみた香芝市での居住年数



(7) 以前の居住地〈単数回答〉

〔問7 現在のお住まいに来られる以前はどこに住んでおられましたか。(1つに○)〕

現在の居住地に来る以前の居住地についてみると、「大阪府」が38.5%で最も高く、次いで「香芝市以外の奈良県」が24.7%となっています。

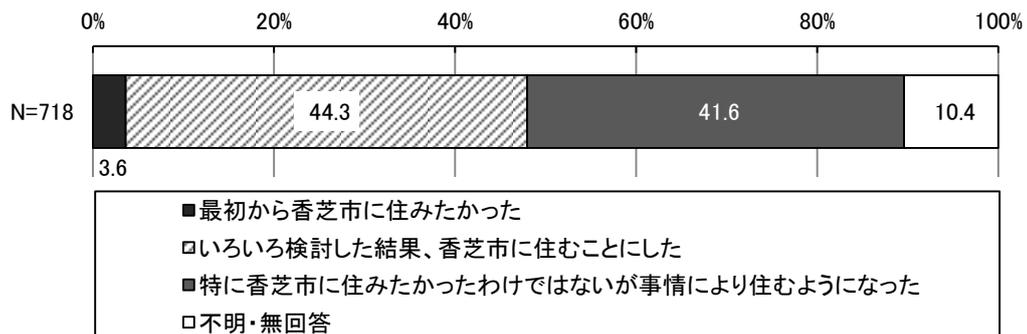


現在地以外から移住してきた方(問7で「1. ずっと現在のところに住んでいる」以外に○をつけた方)

(8) 現在の居住地に住むことになった経緯〈単数回答〉

〔問8 あなたが現在の居住地にお住まいになった経緯は何ですか。(1つに○)〕

現在の居住地に住むことになった経緯についてみると、「いろいろ検討した結果、香芝市に住むことにした」が44.3%で最も高く、次いで「特に香芝市に住みたかったわけではないが事情により住むようになった」が41.6%となっています。



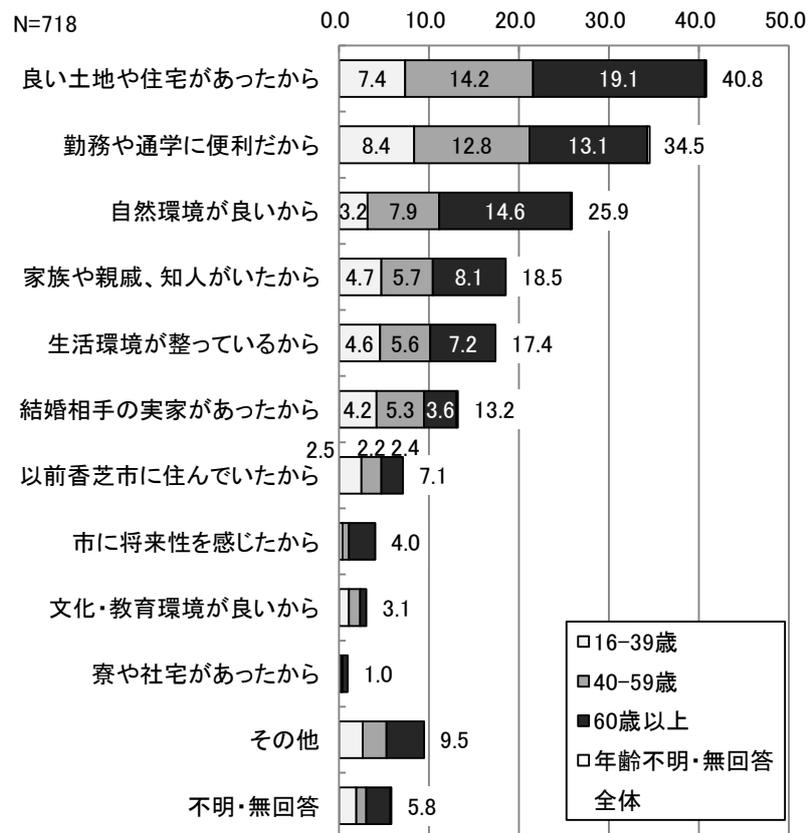
現在地以外から移住してきた方（問7で「1. ずっと現在のところに住んでいる」以外に○をつけた方）

（9）香芝市に住んでいる理由〈複数回答〉

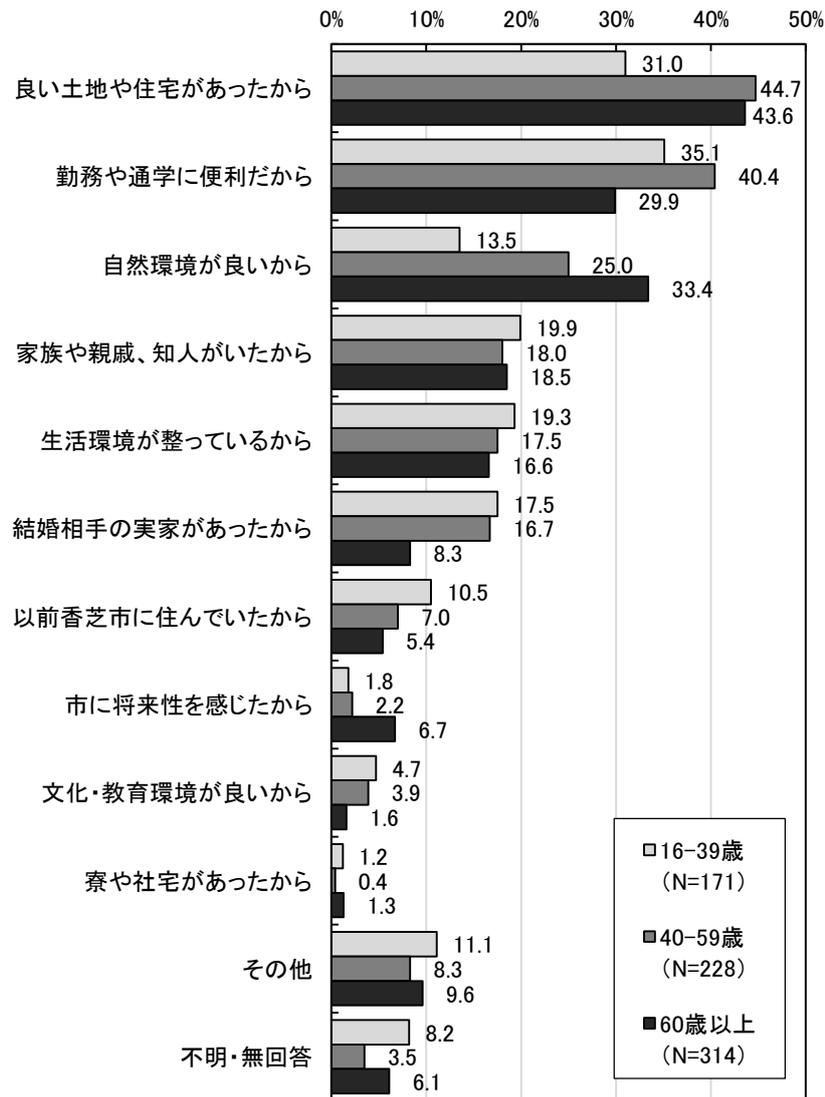
〔問9 あなたが香芝市に住んでいる理由は何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）〕

香芝市に住んでいる理由についてみると、「良い土地や住宅があったから」が40.8%で最も高く、次いで「勤務や通学に便利だから」が34.5%、「自然環境が良いから」が25.9%となっています。

年齢別にみると、「良い土地や住宅があったから」は40歳以上で多く、「自然環境がよいから」は上の世代ほど多くなっています。「勤務や通学に便利だから」、「結婚相手の実家があったから」は59歳以下の世代で多くなっています。



年齢別にみた香芝市に住んでいる理由

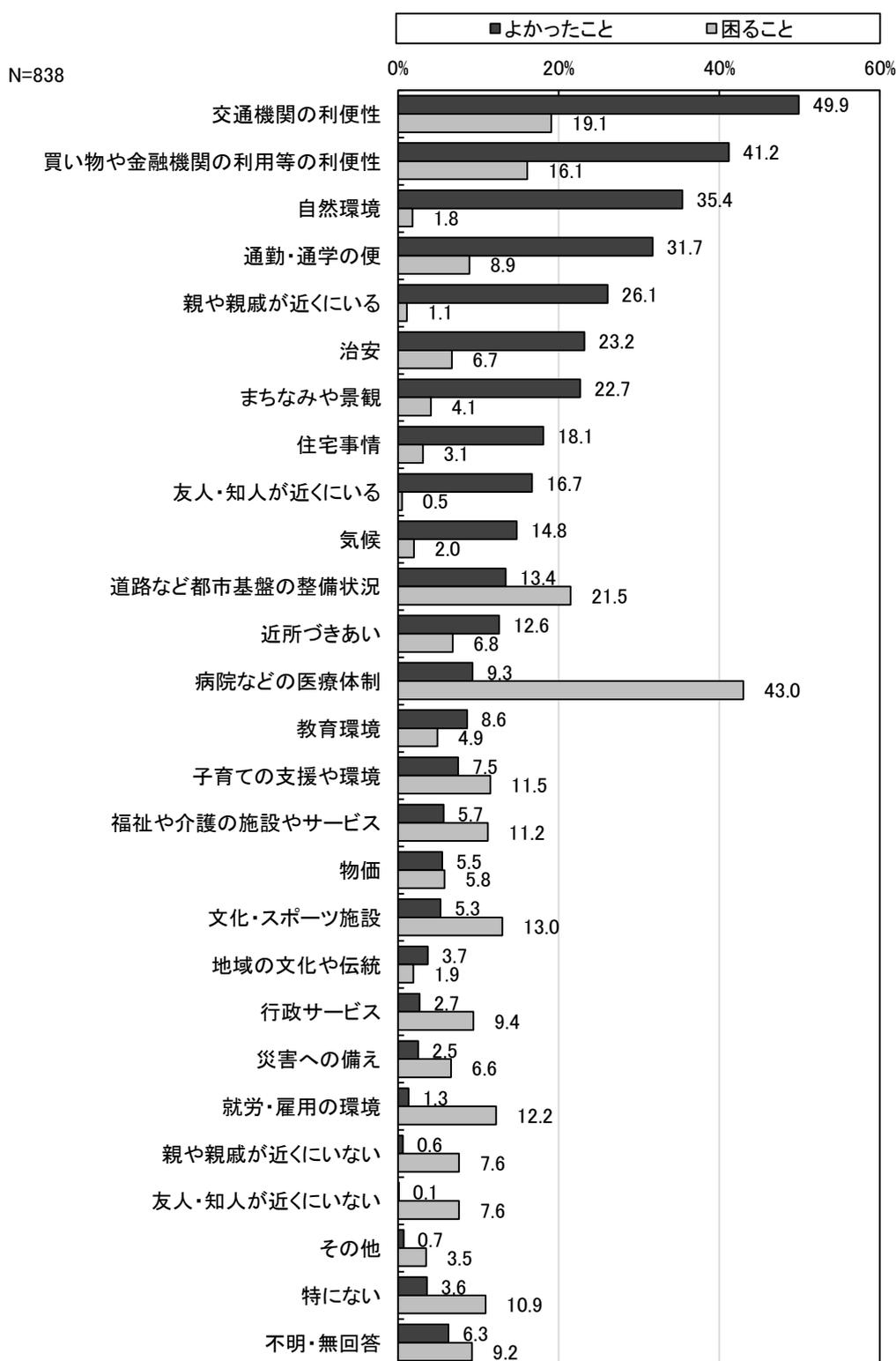


(10) 香芝市に住んでいて「①よかったこと」と「②困ること」〈複数回答〉

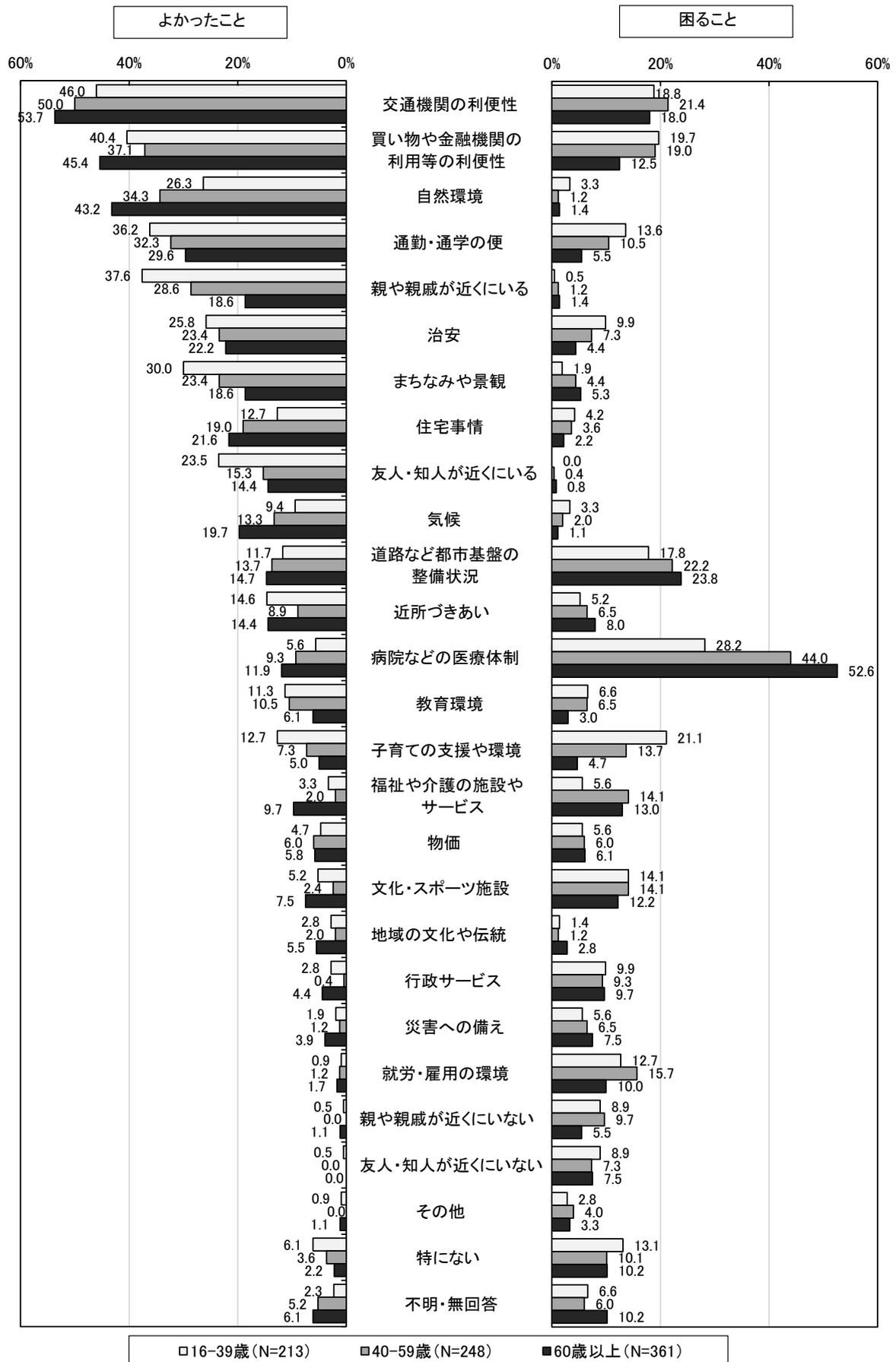
〔問 10 香芝市に住んでいて、①よかったことは何ですか。また、②困ることは何ですか。(あてはまるものすべて)〕

香芝市に住んでいてよかったことについてみると、「交通機関の利便性」が49.9%で最も高く、次いで「買い物や金融機関の利用等の利便性」が41.2%、「通勤・通学の便」が31.7%となっています。また、困ったことについては、「病院などの医療体制」が43.0%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「親や親せきが近くにいる」のがよいという回答は若い世代で、「病院などの医療体制」が困るという回答は上の世代で、より多く回答されています。



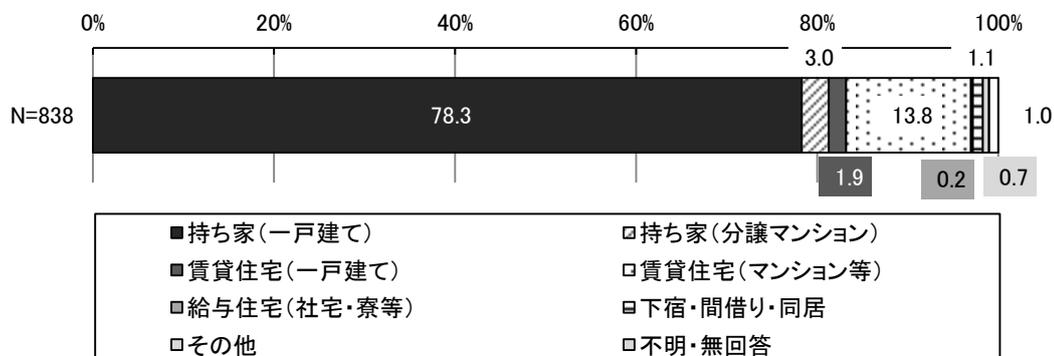
年齢別にみた香芝市に住んでよかったこと・困ること



(11) 回答者の住宅の形態〈単数回答〉

〔問 11 あなたのお住まいの住宅の形態は、次のどれに当てはまりますか(1つに○)。〕

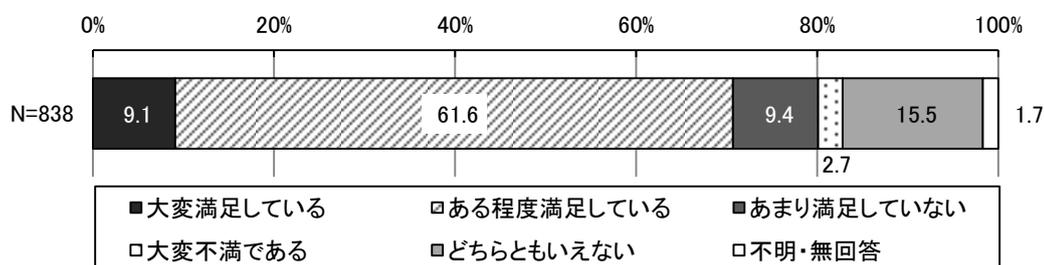
回答者の住宅の形態についてみると、「持ち家（一戸建て）」が 78.3%で、全体の8割近くを占めています。次いで「賃貸住宅（マンション等）」が 13.8%となっています。



(12) 香芝市の生活環境に対する満足度〈単数回答〉

〔問 12 あなたは、現在の香芝市の生活環境についてどの程度満足していますか。(1つに○)〕

香芝市の生活環境に対する満足度についてみると、「ある程度満足している」が 61.6%で全体の6割を占めています。次いで「どちらともいえない」が 15.5%となっています。

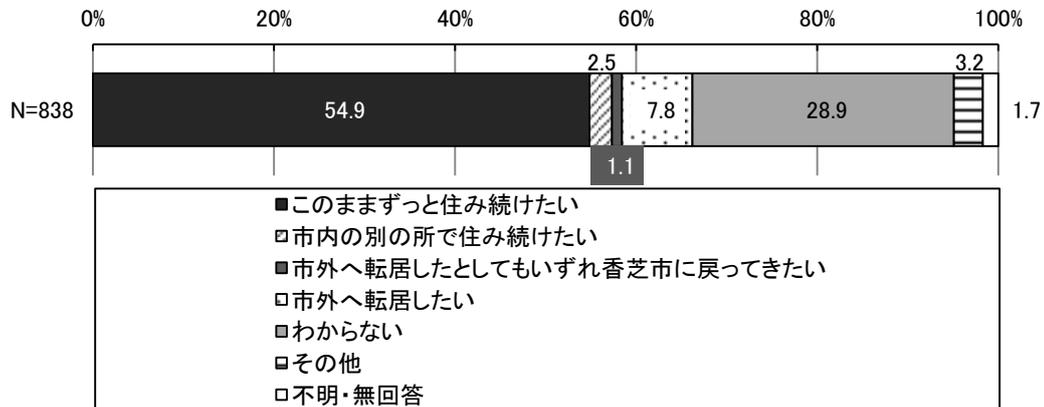


(13) 香芝市での居留意向〈単数回答〉

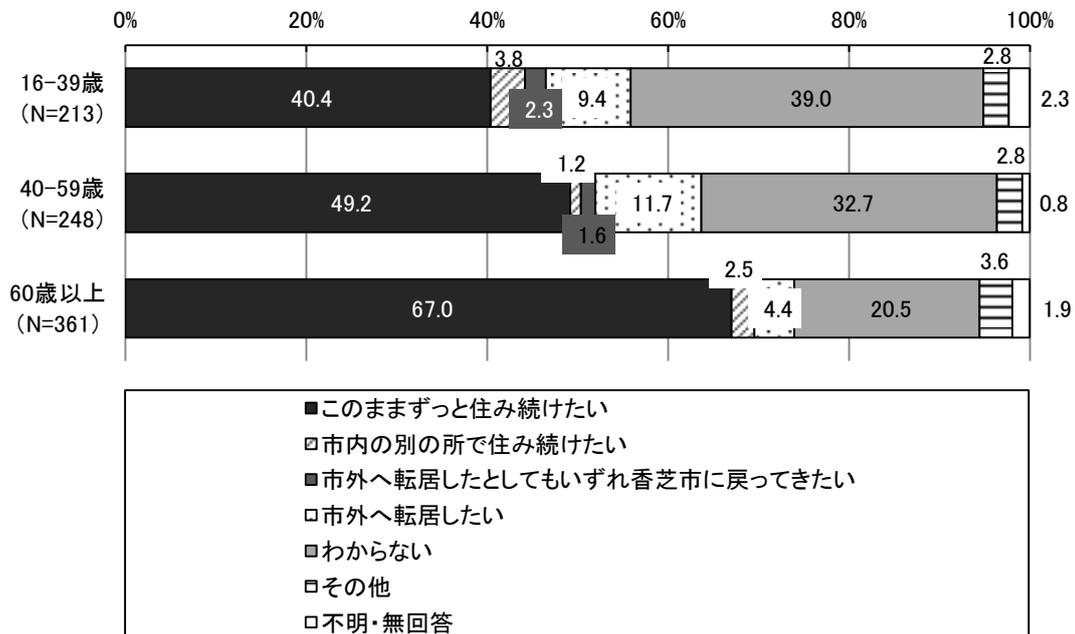
〔問 13 あなたは、今後も香芝市に住み続けたいと思われませんか。(1つに○)〕

今後も香芝市に住み続けたいかどうかについてみると、「このままずっと住み続けたい」が54.9%で半数以上を占めています。その一方で、「わからない」という回答も28.9%となっています。

年齢別にみると、若い世代ほど「このままずっと住み続けたい」が少なく、「わからない」が多くなっています。



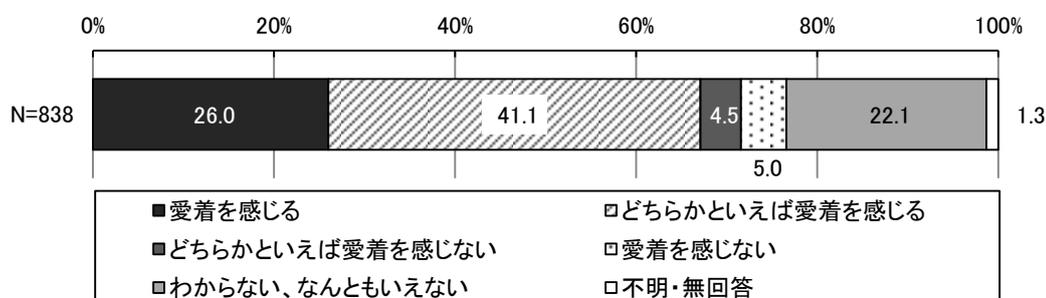
年齢別にみた居留意向



(14) 香芝市に愛着を感じるか〈単数回答〉

〔問 14 あなたは、香芝市に愛着を感じていますか。(1つに○)〕

香芝市に愛着を感じているかどうかについてみると、「どちらかといえば愛着を感じる」が41.1%で最も多く、次いで「愛着を感じる」が26.0%となっていて、回答者のおよそ3分の2が香芝市に愛着を感じていると答えています。

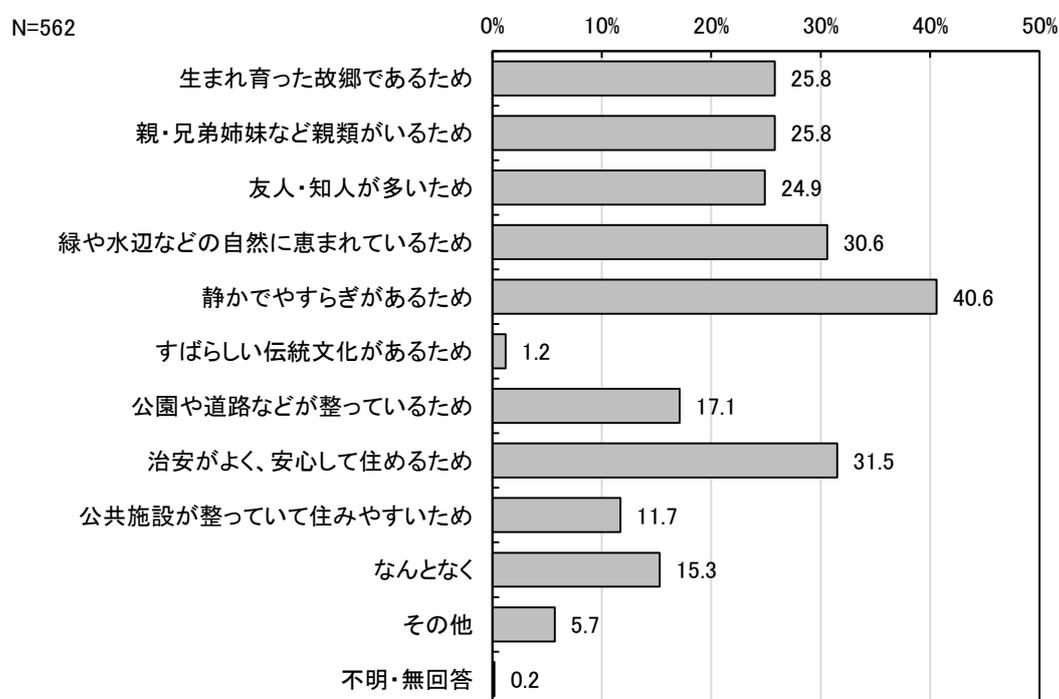


香芝市に愛着を感じる方(問 14で「1.」または「2.」に○をつけた方)

(15) 香芝市に愛着を感じる理由〈複数回答〉

〔問 15 香芝市に愛着を感じる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)〕

香芝市に愛着を感じる理由についてみると、「静かでやすらぎがあるため」が40.6%で最も高く、次いで「治安がよく、安心して住めるため」が31.5%、「緑や水辺などの自然に恵まれているため」が30.6%となっています。



2 香芝市のまちづくりについて

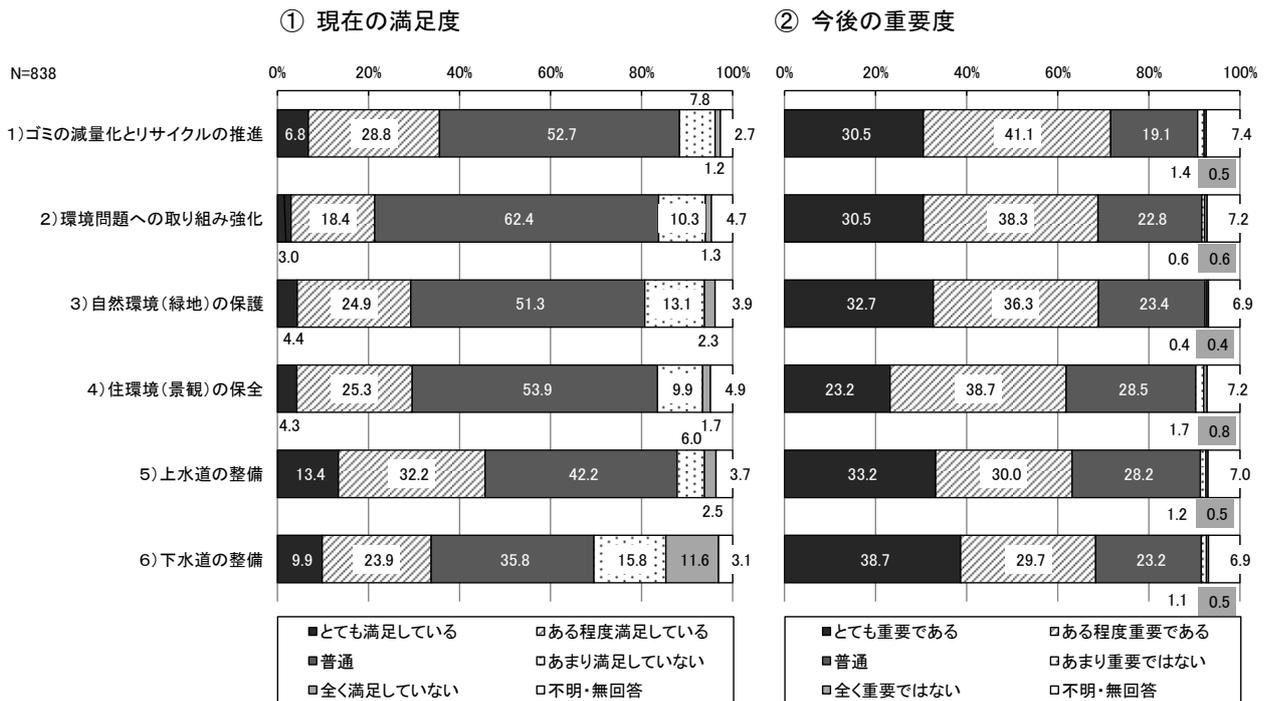
(1) 香芝市が取り組んでいる施策に対する「①現在の満足度」と「②今後の重要度」 〈単数回答〉

〔問 16 香芝市が取り組んでいる以下のそれぞれの施策について、①現在どの程度満足されていますか。②また、今後どのくらい重要な取組だと思いますか。(1つに○)〕

① 《自然・環境》

自然・環境の取組に対する①現在の満足度についてみると、いずれの施策においても「普通」の割合が最も高くなっています。〈上水道の整備〉においては、『満足している』（「とても満足している」と「ある程度満足している」の計）の割合が45.6%と、他の施策に比べて高くなっています。一方、『満足していない』（「全く満足していない」と「あまり満足していない」の計）の割合が高いのは、〈下水道の整備〉で27.4%となっています。

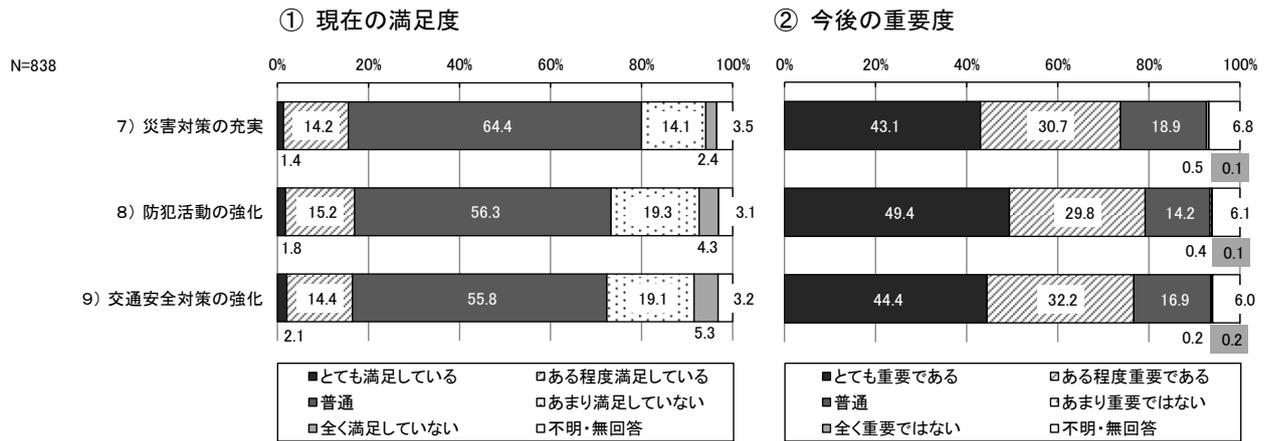
②今後の重要度についてみると、いずれの施策においても『重要である』（「とても重要である」と「ある程度重要である」の計）の割合が全体の7割前後となっています。特に〈下水道の整備〉においては、「とても重要である」が38.7%と、他の施策に比べて割合が高くなっています。



② 《安全・安心》

安全・安心の取組に対する①現在の満足度についてみると、いずれの施策においても「普通」の割合が最も高くなっています。また、〈交通安全対策の強化〉および〈防犯活動の強化〉において『満足していない』（「全く満足していない」と「あまり満足していない」の計）の割合が高く、それぞれ24.4%、23.6%となっています。

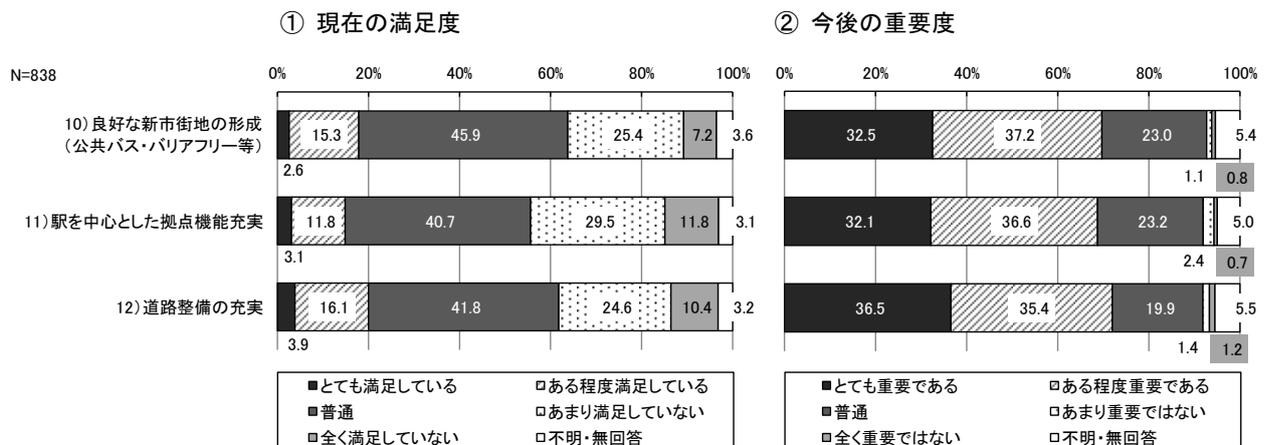
②今後の重要度についてみると、いずれの施策においても『重要である』（「とても重要である」と「ある程度重要である」の計）の割合が全体の75%前後を占め、重要度が高いことがうかがえます。



③ 《都市基盤》

都市基盤の取組に対する①現在の満足度についてみると、いずれの施策においても「普通」の割合が最も高くなっています。また、いずれの施策においても、次いで『満足していない』（「全く満足していない」と「あまり満足していない」の計）の割合が高く、全体の3割から4割を占めています。

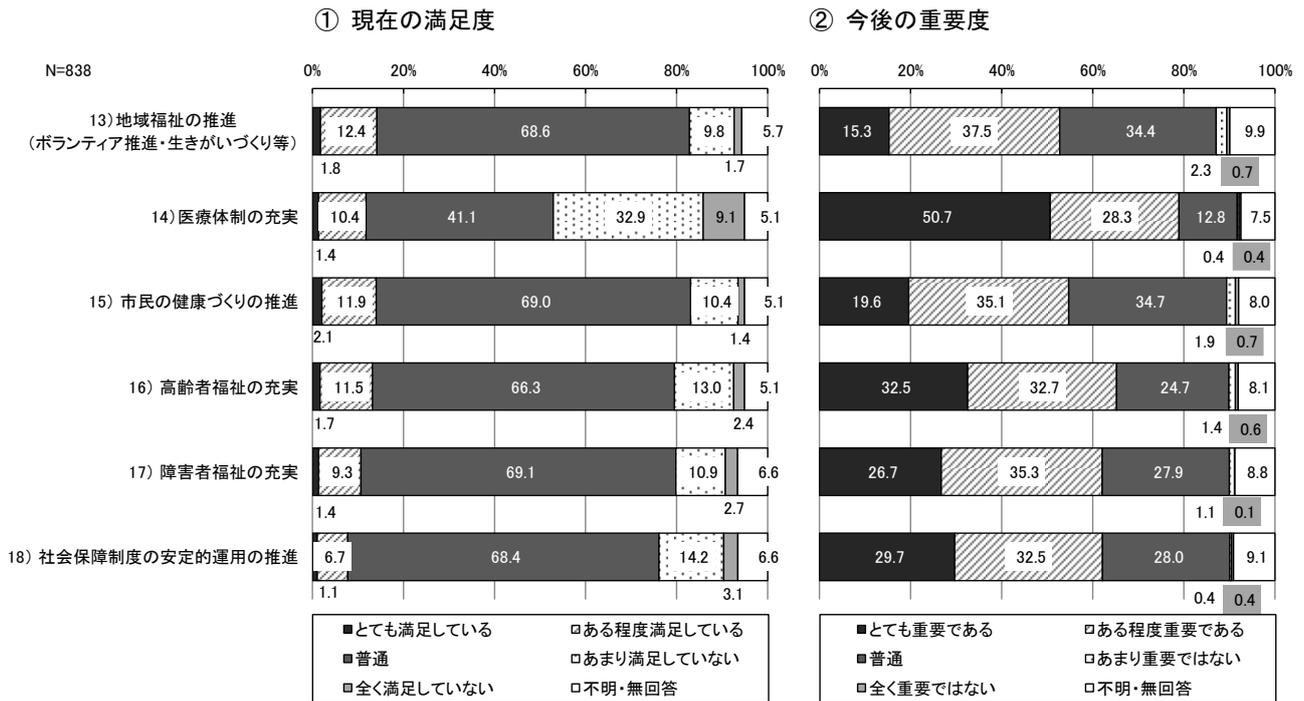
②今後の重要度についてみると、いずれの施策においても『重要である』（「とても重要である」と「ある程度重要である」の計）の割合が全体の7割前後となっています。特に〈道路整備の充実〉においては、「とても重要である」が36.5%と、他の施策に比べて割合が高くなっています。



④ 《健康・福祉》

健康・福祉の取組に対する①現在の満足度についてみると、いずれの施策においても「普通」の割合が最も高くなっていますが、〈医療体制の充実〉においてその割合は41.1%と他の施策に比べて低く、一方、『満足していない』（「全く満足していない」と「あまり満足していない」の計）の割合は42.0%と、突出して高い値となっています。

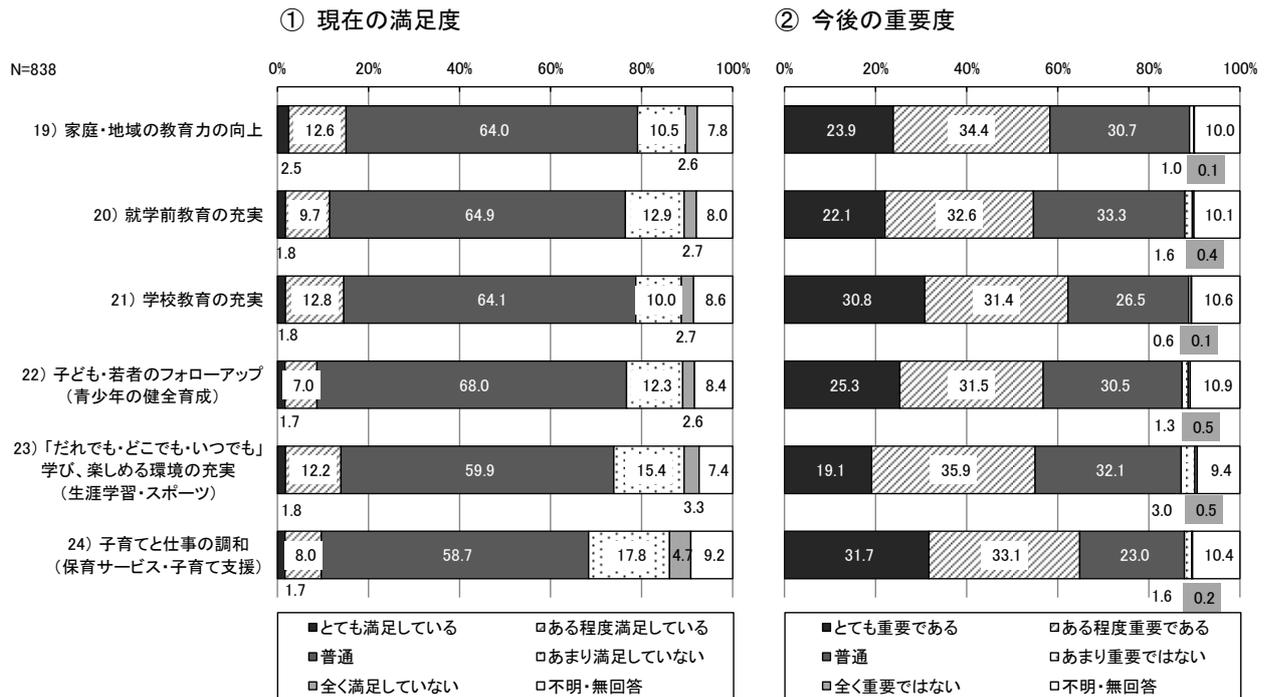
②今後の重要度についてみると、いずれの施策においても『重要である』（「とても重要である」と「ある程度重要である」の計）が全体の半数以上を占めていますが、中でも〈医療体制の充実〉において「とても重要である」が50.7%と、他の施策に比べて特に高くなっています。



⑤ 《子育て・教育》

子育て・教育の取組に対する①現在の満足度についてみると、いずれの施策においても「普通」が全体の3分の2近くを占めています。〈子育てと仕事の調和（保育サービス・子育て支援）〉において、『満足していない』（「全く満足していない」と「あまり満足していない」の計）の割合が22.5%と、他の施策に比べて高くなっています。

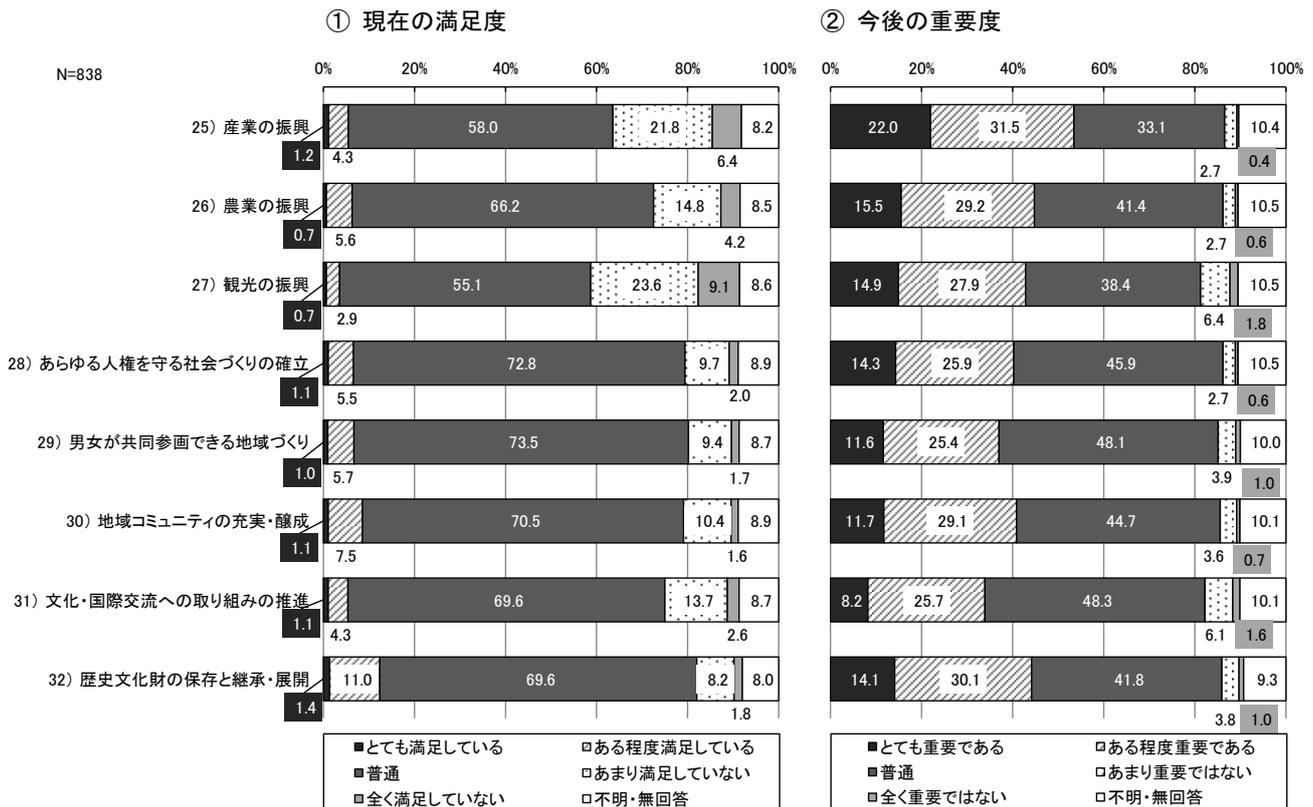
②今後の重要度についてみると、いずれの施策においても『重要である』（「とても重要である」と「ある程度重要である」の計）が全体の半数以上を占めています。特に、〈子育てと仕事の調和（保育サービス・子育て支援）〉においてその割合は高くなっています。



⑥ 《産業・文化・連携》

産業・文化・連携の取組に対する①現在の満足度についてみると、いずれの施策においても「普通」の割合が最も高くなっています。〈観光の振興〉と〈産業の振興〉において、『満足していない』（「全く満足していない」と「あまり満足していない」の計）の割合が高く、それぞれ32.7%、28.2%となっています。

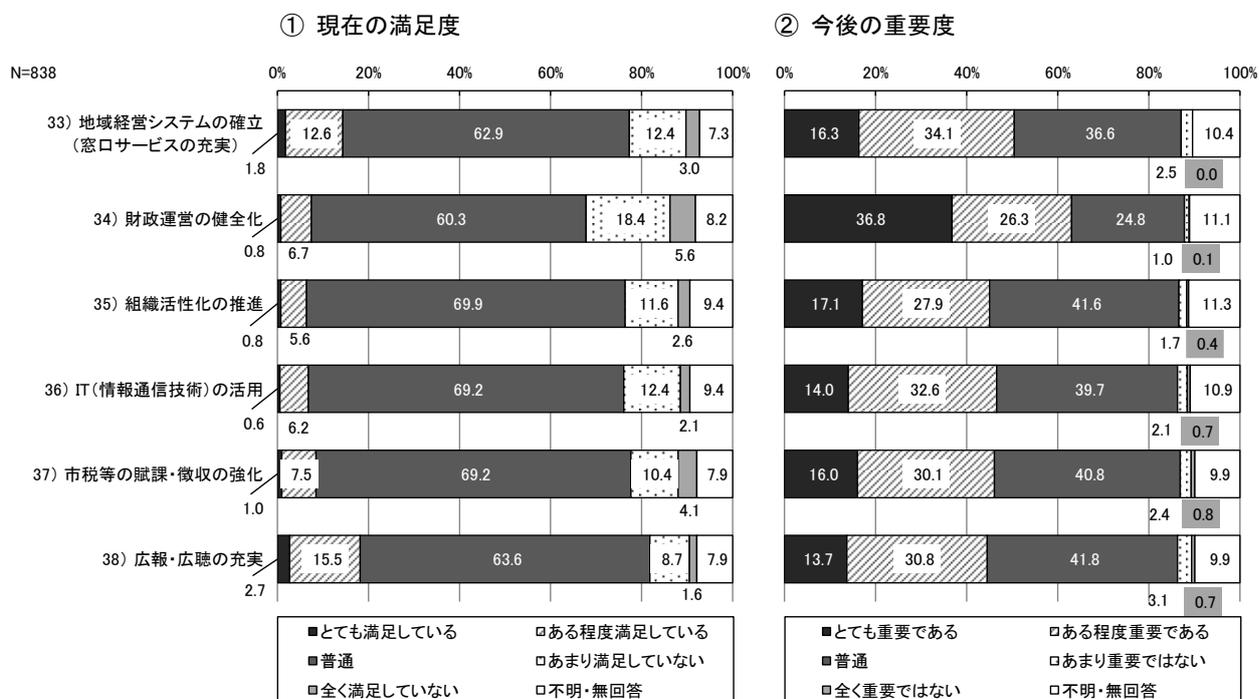
②今後の重要度についてみると、いずれの施策においても「普通」の割合が最も高くなっています。〈産業の振興〉において、『重要である』（「とても重要である」と「ある程度重要である」の計）の割合が高く、53.5%となっています。



⑦ 《行政経営》

行政経営の取組に対する①現在の満足度についてみると、いずれの施策においても「普通」の割合が最も高くなっています。〈財政運営の健全化〉において、『満足していない』（「全く満足していない」と「あまり満足していない」の計）の割合が高く、24.0%となっています。

②今後の重要度についてみると、〈財政運営の健全化〉において『重要である』（「とても重要である」と「ある程度重要である」の計）が63.1%と、他の施策に比べて割合が高くなっています。

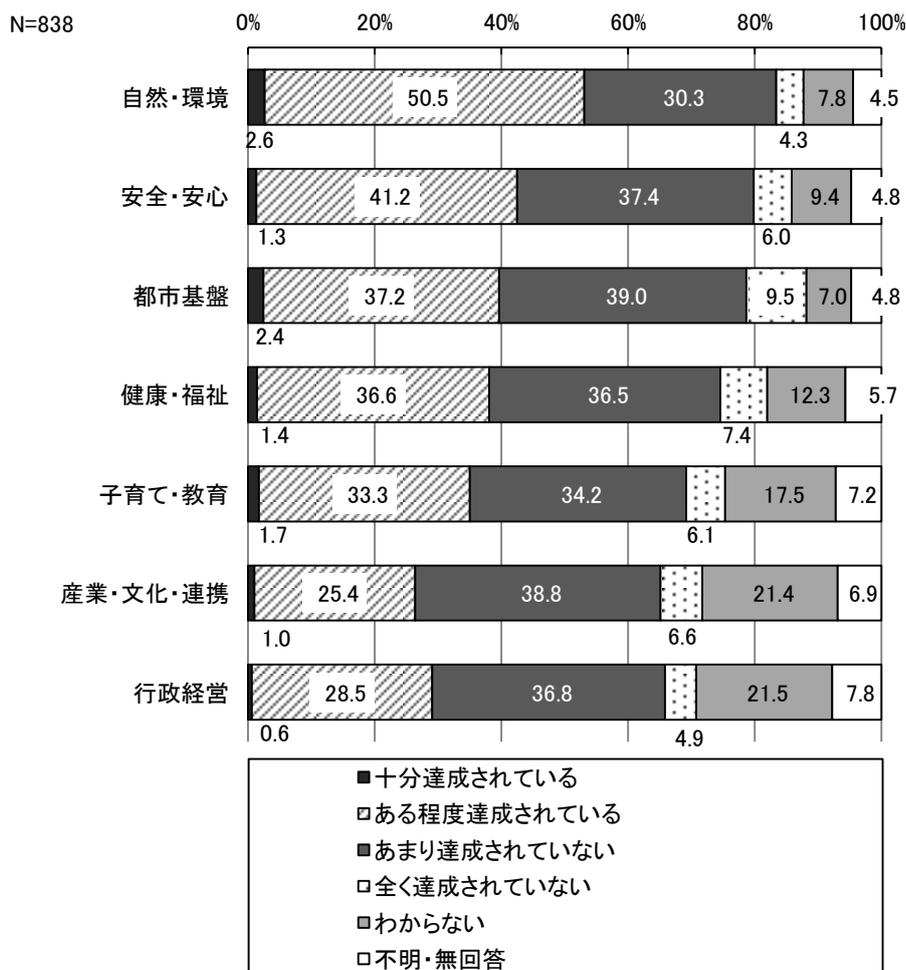


(2) 各政策に対する回答者の評価〈単数回答〉

[問 17 問 16 でお聞きした施策をまとめた政策について、どの程度達成されていると感じますか。それぞれの政策ごとに、5～1の中からあなたの評価にもっとも近いもの1つに○をつけてください。]

各政策に対する回答者の評価についてみると、《自然・環境》において『達成されている』（「十分達成されている」と「ある程度達成されている」の計）の割合が他の施策に比べて高く、53.1%となっています。

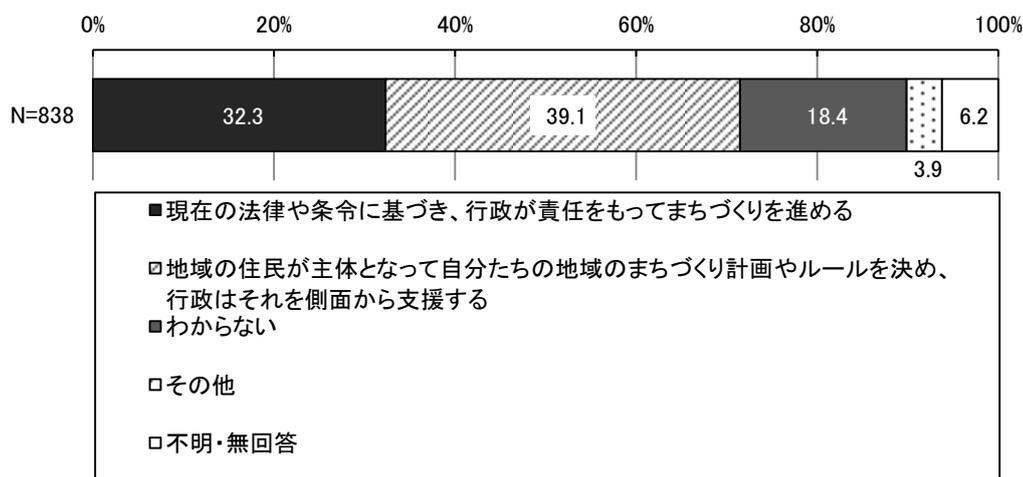
一方、《都市基盤》と《産業・文化・連携》において『達成されていない』（「全く達成されていない」と「あまり達成されていない」の計）の割合が高く、それぞれ48.5%、45.4%となっています。



(3) 居住する地区の今後のまちづくりの進め方に対する考え〈単数回答〉

〔問 19 今後、お住まいの地区のまちづくりを進める方法として、どういったやり方が良いと思いますか。(1つに○)〕

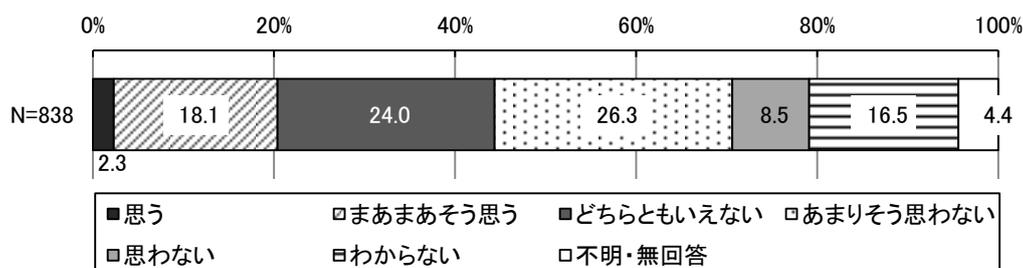
居住する地区の今後のまちづくりの進め方に対する考えについてみると、「地域の住民が主体となって自分たちの地域のまちづくり計画やルールを決め、行政はそれを側面から支援する」が 39.1%で最も高く、次いで「現在の法律や条令に基づき、行政が責任をもってまちづくりを進める」が 32.3%となっています。



(4) 市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいるか〈単数回答〉

〔問 20 現在の香芝市は、市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。(1つに○)〕

市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいるかについてみると、「あまりそう思わない」が 26.3%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 24.0%、「まあまあそう思う」が 18.1%となっています。

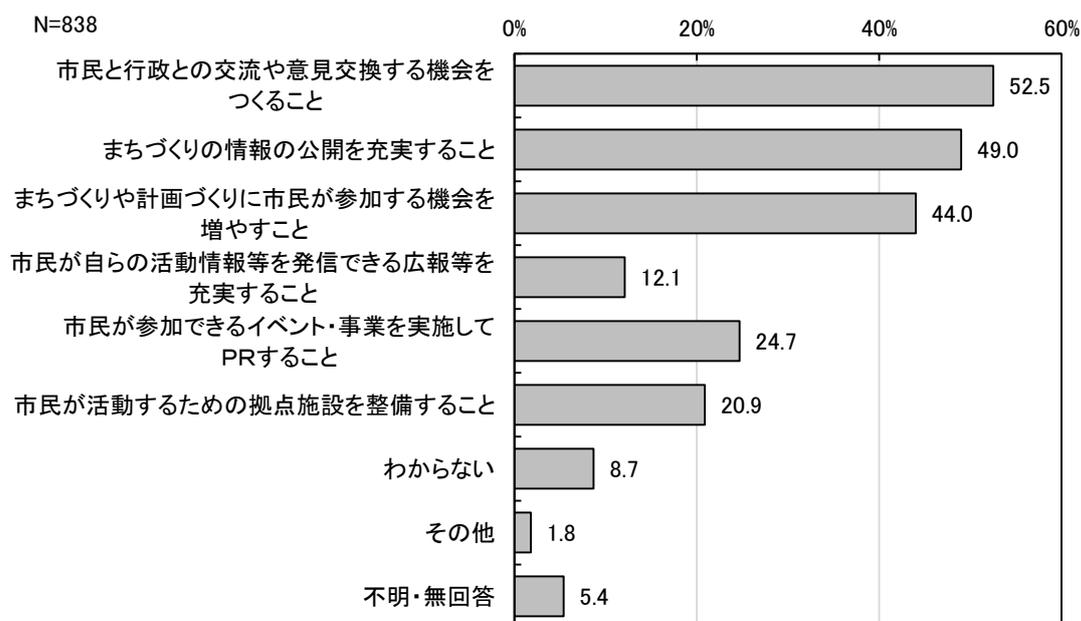


(5) 市民と行政が協働してまちづくりを行ううえで必要だと思うこと〈複数回答〉

〔問 21 市民と行政が協働してまちづくりを行ううえで、あなたが必要だと思うのはどのようなことですか。〕

(あてはまるものに3つまでに○)

市民と行政が協働してまちづくりを行ううえで必要だと思うことについてみると、「市民と行政との交流や意見交換する機会をつくること」が 52.5%で最も高く、次いで「まちづくりの情報の公開を充実すること」が 49.0%、「まちづくりや計画づくりに市民が参加する機会を増やすこと」が 44.0%となっています。

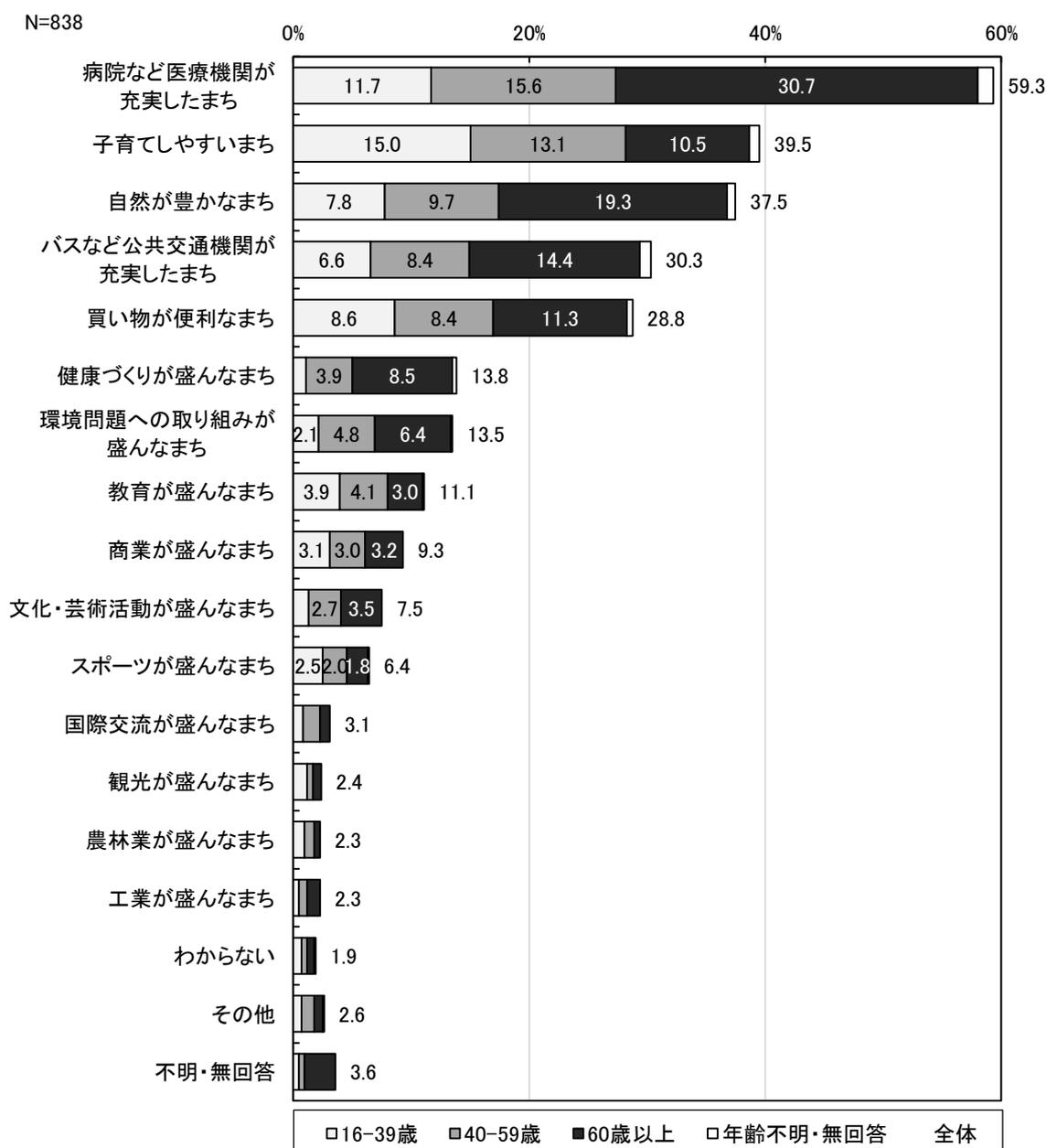


(6) 今後どのようなまちになってほしいか〈複数回答〉

〔問 22 今後、香芝市には、どのようなまちになってほしいですか。(あてはまるものに3つまでに○)〕

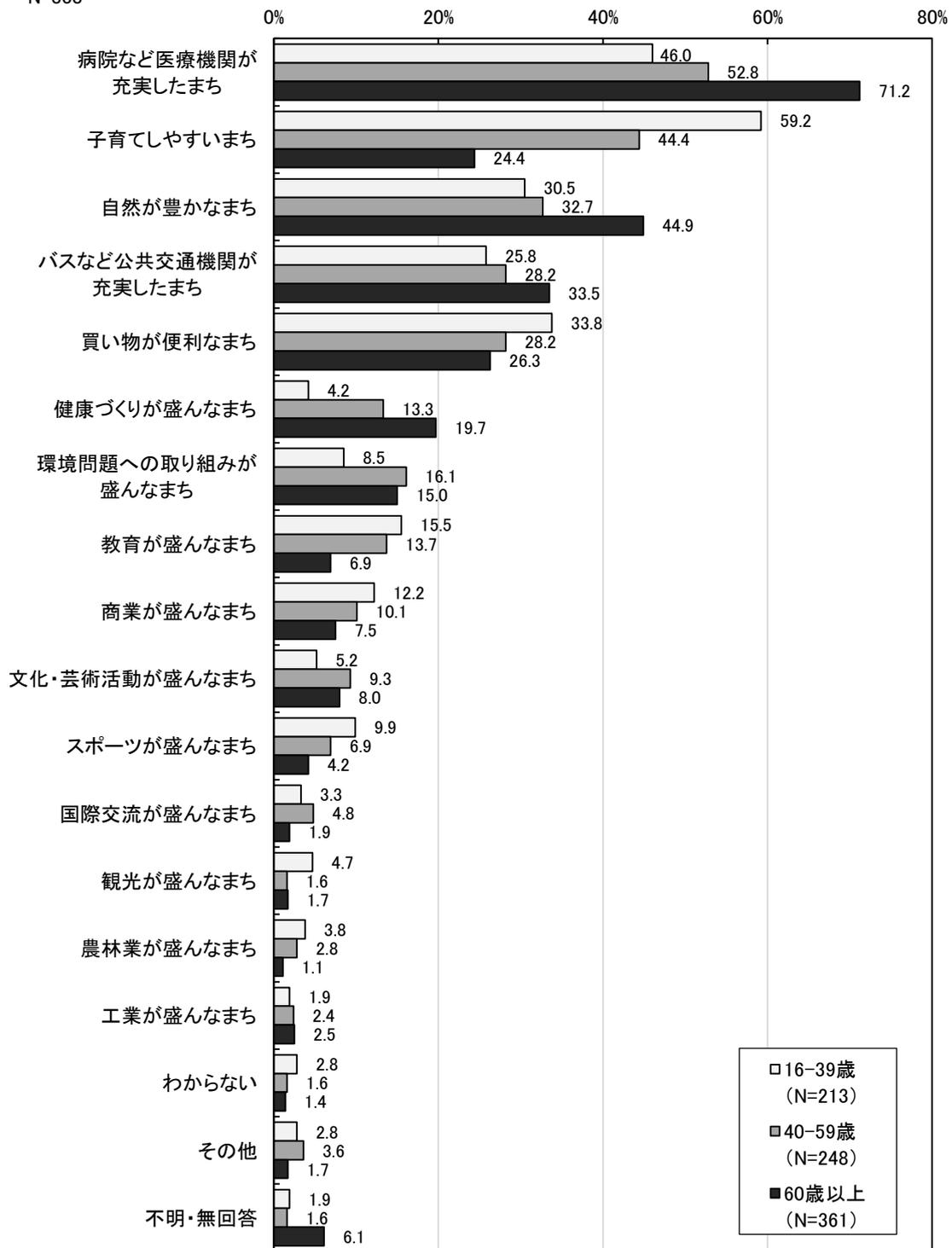
香芝市には今後どのようなまちになってほしいかについてみると、「病院など医療機関が充実したまち」が59.3%で最も高く、次いで「子育てしやすいまち」が39.5%、「自然が豊かなまち」が37.5%となっています。

年齢別にみると、「病院など医療機関が充実したまち」、「自然が豊かなまち」、「健康づくりが盛んなまち」については、上の世代の方が多く回答しており、「子育てしやすいまち」、「教育が盛んなまち」については、若い世代の方が多く回答しています。



年齢別にみた今後どのようなまちになってほしいか

N=838



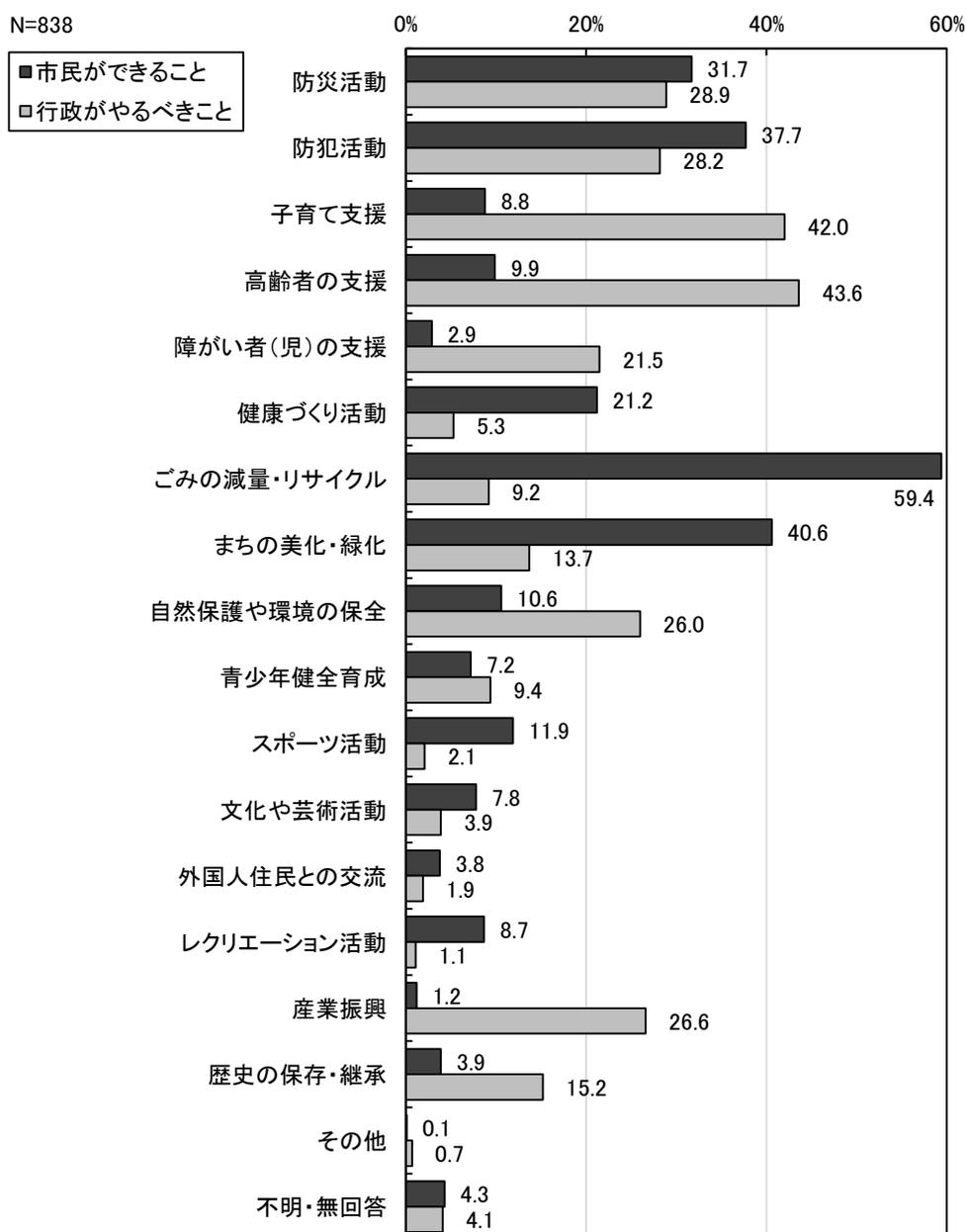
(7) 「①市民ができること」「②特に行政がやるべきこと」〈複数回答〉

〔問 23 下記の中で、①市民ができること、やるべきこと、一方、②特に行政がやるべきことは何だと思いませんか。〕

(あてはまるものに3つまで)

市民ができることについてみると、「ごみの減量・リサイクル」が59.4%で最も高く、次いで「まちの美化・緑化」が40.6%、「防犯活動」が37.7%、「防災活動」が31.7%となっています。

特に行政がやるべきことについてみると、「高齢者の支援」が43.6%で最も高く、次いで「子育て支援」が42.0%となっています。「防災活動」「防犯活動」「産業振興」「自然保護や環境の保全」「障がい者（児）の支援」にもそれぞれ全体の2割を超える回答がありました。

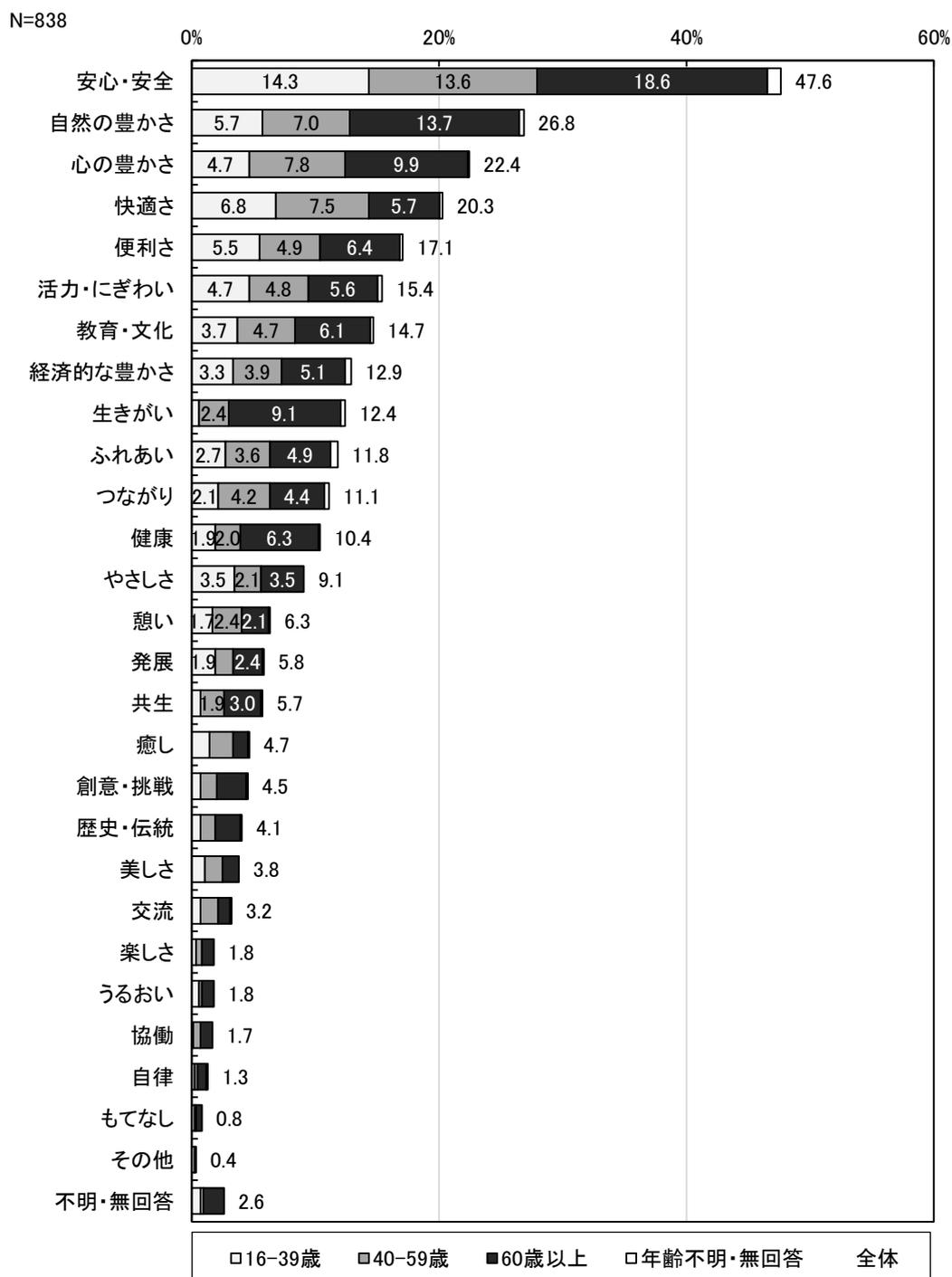


(8) 今後めざすべき香芝市のイメージを表す言葉(キーワード)について〈複数回答〉

〔問 24 あなたは、今後、めざしていくべき香芝市のイメージを表すものとして、どのような「言葉(キーワード)」がふさわしいと思いますか。(あてはまるものに3つまでに○)〕

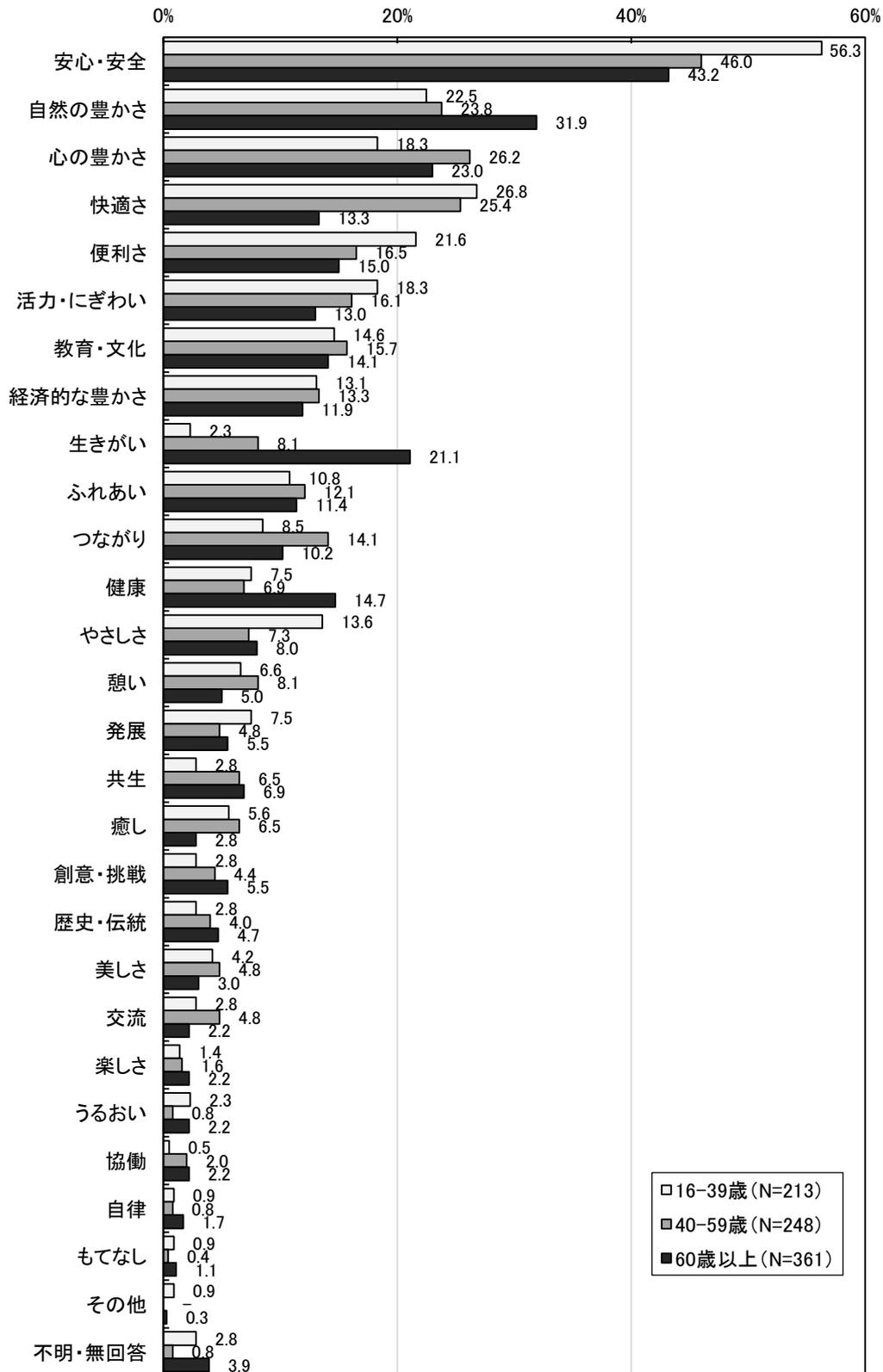
今後めざすべき香芝市のイメージを表す言葉(キーワード)についてみると、「安心・安全」が47.6%で最も高く、次いで「自然の豊かさ」が26.8%、「心の豊かさ」が22.4%となっています。

年齢別にみると、「安心・安全」、「快適さ」、「便利さ」、「活力・にぎわい」は若い世代の方が多く、「自然の豊かさ」、「生きがい」、「健康」は60歳以上の方が多く回答されています。



年齢別にみた香芝市のイメージを表す言葉

N=838



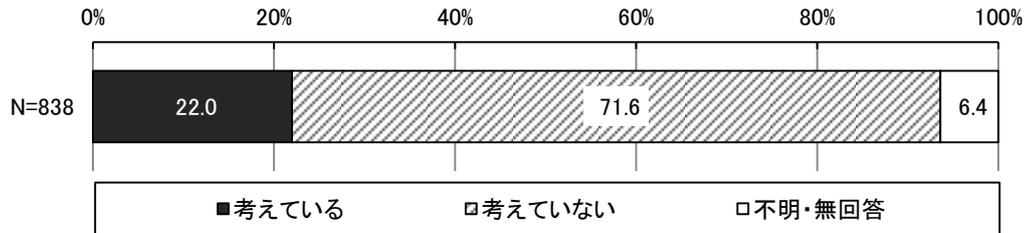
3 就職・転職について

(1) 今後就職や転職を考えているか〈単数回答〉

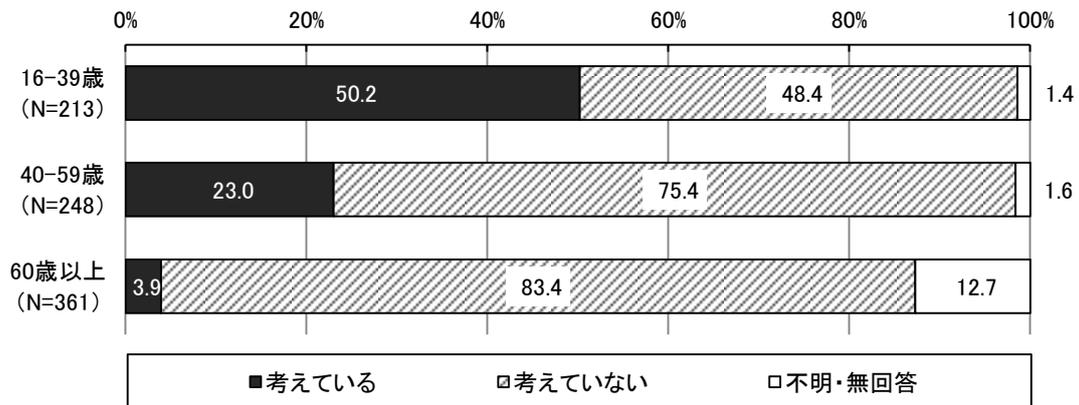
〔問 25 あなたは今後、就職や転職を考えていますか(1つに〇)。〕

今後就職や転職を考えているかどうかについてみると、「考えている」が22.0%、「考えていない」が71.6%となっています。

年齢別にみると、39歳以下では半数が「考えている」と回答しています。



年齢別にみた就職・転職意向



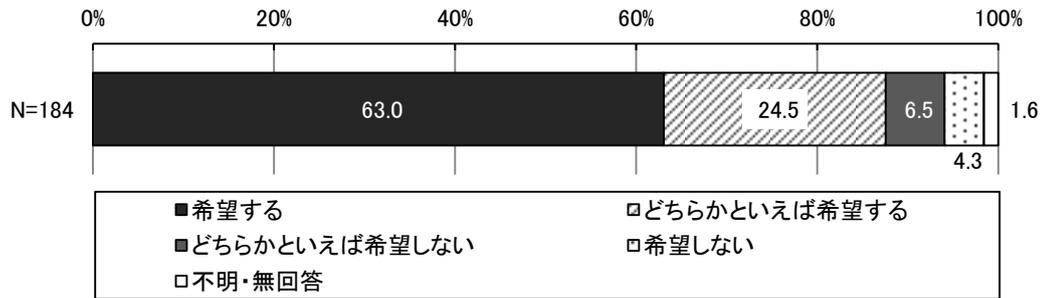
今後就職・転職を考えている方（問 25 で「1.」に○をつけた方）

（2）今後就職・転職を考えている方の、香芝市から通える範囲での就業希望

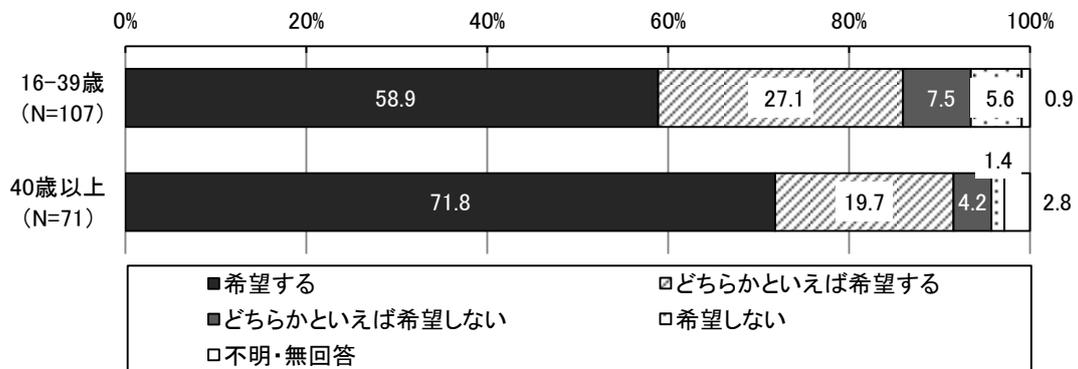
〈単数回答〉〔問 26 就職・転職の際、香芝市から通える範囲での就業を希望しますか。（1つに○）〕

今後就職・転職を考えている方の、香芝市から通える範囲での就業希望についてみると、「希望する」が63.0%で最も高く、次いで「どちらかといえば希望する」が24.5%で、就職・転職を考えている方の9割近く（87.5%）が香芝市から通える範囲での就業を希望しています。

年齢別にみると、若年世代ではやや「希望する」という回答が少なくなりますが、それでも「どちらかといえば希望する」との合計は8割を超えています。



年齢別にみた就職・転職意向

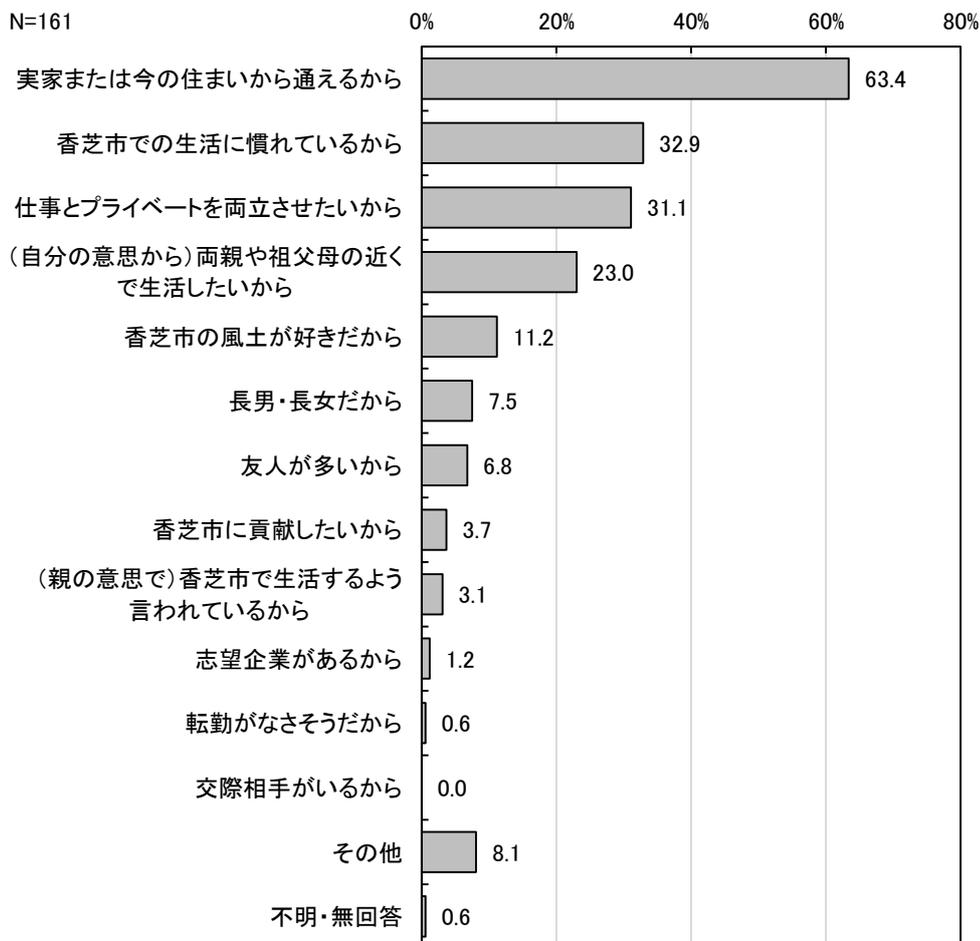


香芝市から通える範囲での就業を希望する方（問 26 で「1.」または「2.」に○をつけた方）

（3）香芝市から通える範囲での就業を希望する理由〈複数回答〉

〔問 27 香芝市から通える範囲での就業を希望する理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）〕

香芝市から通える範囲での就業を希望する理由についてみると、「実家または今の住まいから通えるから」が63.4%で最も高く、次いで「香芝市での生活に慣れているから」が32.9%、「仕事とプライベートを両立させたいから」が31.1%となっています。



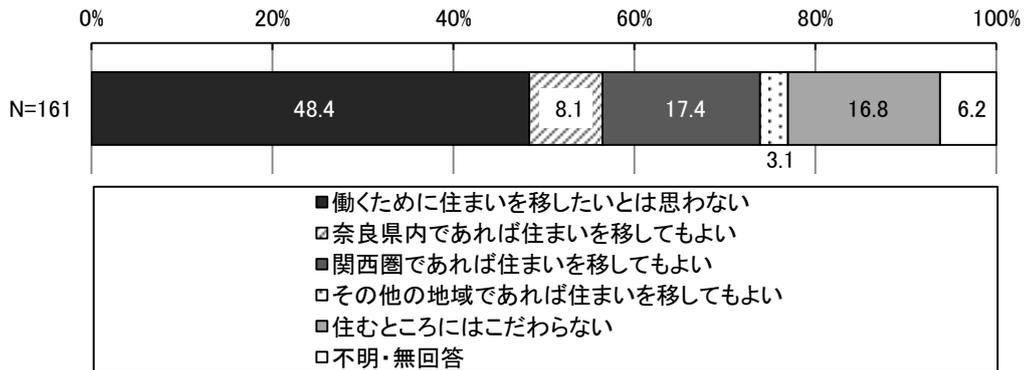
香芝市から通える範囲での就業を希望する方（問 26 で「1.」または「2.」に○をつけた方）

（4）香芝市から通える範囲での就業ができない場合、住まいをどうするか〈単数回答〉

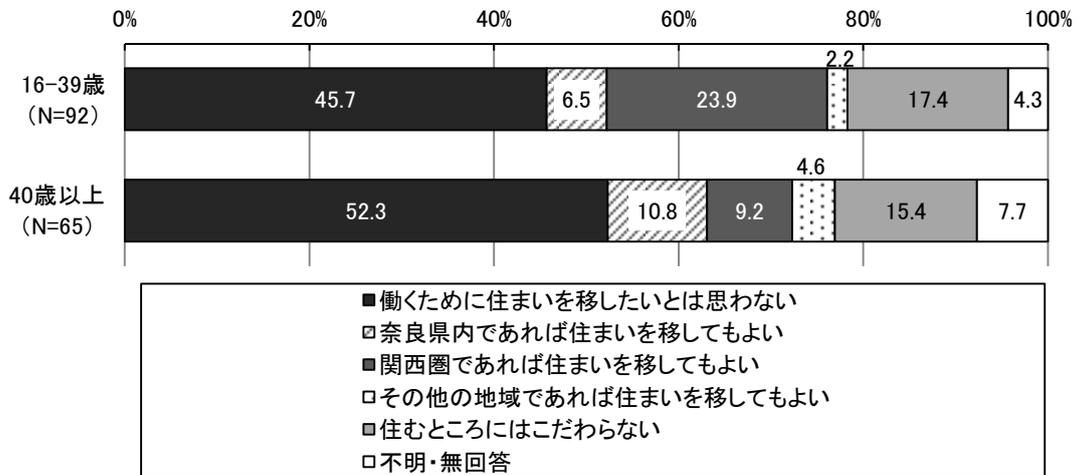
〔問 28 香芝市から通える範囲での就業ができない場合、住まいを移すことについてどう考えますか。（1つに○）〕

香芝市から通える範囲での就業ができない場合に住まいを移すかどうかについてみると、「働くために住まいを移したいとは思わない」が 48.4%、次いで「関西圏であれば住まいを移してもよい」が 17.4%、「住むところにはこだわらない」が 16.8%となっています。

年齢別でみると、若い世代では「関西圏であれば住まいを移してもよい」がやや多くなっています。なお、この設問については男女差はあまりみられませんでした。



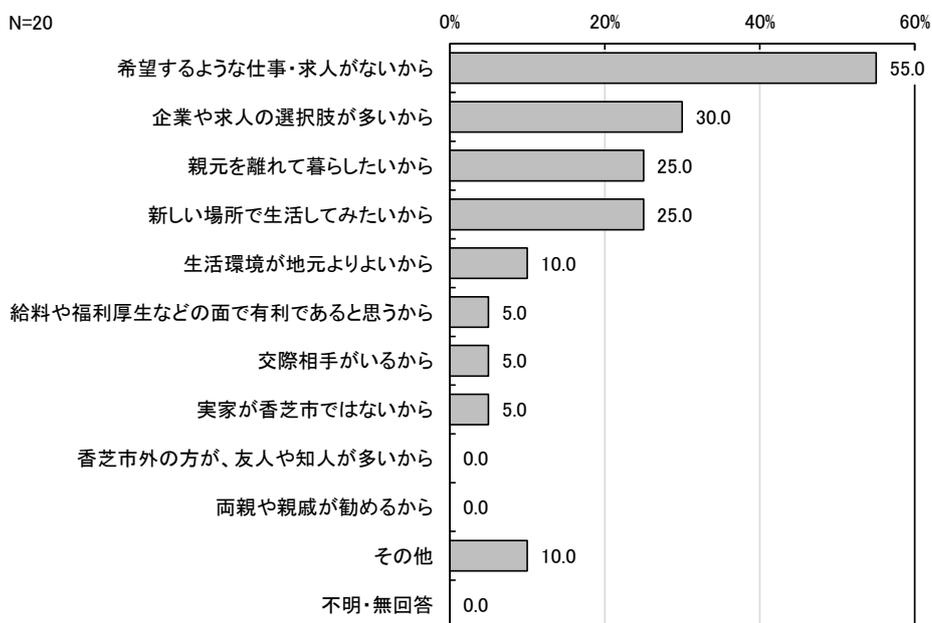
年齢別にみた就職・転職意向



**香芝市から通える範囲での就業を希望しない方（問 26 で「3.」または「4.」に○をつけた方）のみ
（5）香芝市から通える範囲での就業を希望しない理由〈複数回答〉**

〔問 29 香芝市から通える範囲での就業を希望しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）〕

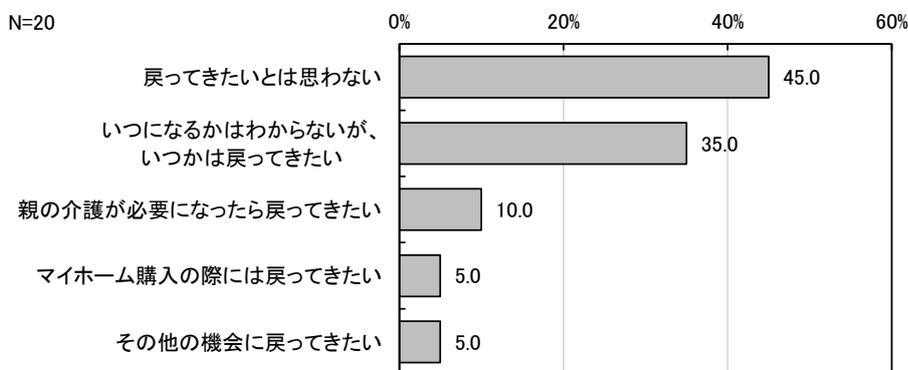
香芝市から通える範囲での就業を希望しない理由についてみると、「希望するような仕事・求人がないから」が55.0%で最も高くなっています。



**香芝市から通える範囲での就業を希望しない方（問 26 で「3.」または「4.」に○をつけた方）のみ
（6）将来、香芝市に戻ってきたいか〈単数回答〉**

〔問 30 今後香芝市を離れたとして、将来戻ってきたいと思いますか。（1つに○）〕

将来、香芝市に戻ってきたいかどうかについては、「戻ってきたいとは思わない」が45.0%で最も高く、次いで「いつになるかはわからないが、いつかは戻ってきたい」が35.0%となっています。



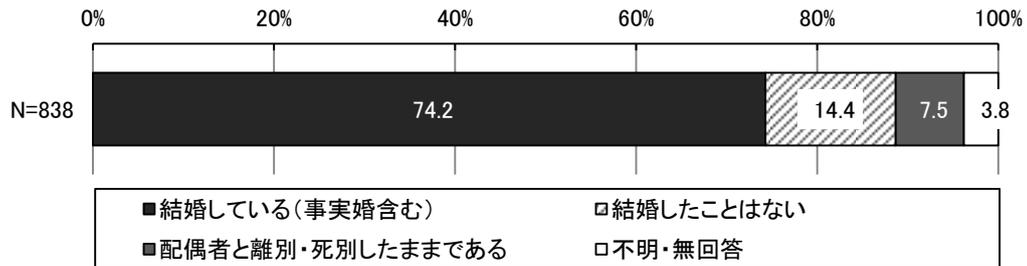
※「結婚するときには戻ってきたい」「子どもができたなら戻ってきたい」「子どもが独立したら戻ってきたい」「定年退職したら戻ってきたい」には回答がありませんでした。

4 出産・子育てについて

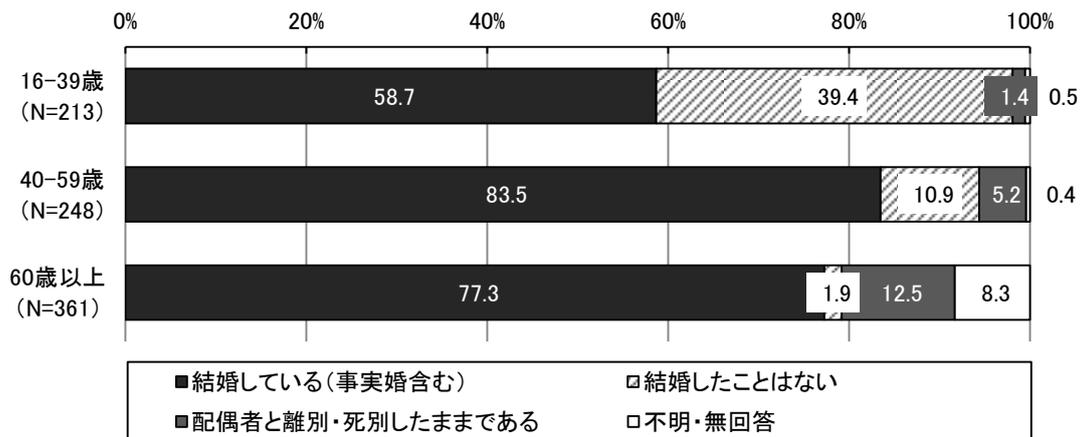
(1) 結婚の状況〈単数回答〉〔問 31 あなたは結婚していますか(1つに〇)。〕

結婚の状況についてみると、「結婚している(事実婚含む)」が74.2%、「結婚したことはない」が14.4%、「配偶者と離別・死別したままである」が7.5%となっています。

年齢別にみると、39歳以下では「結婚したことはない」が約4割、40-59歳では約1割となっています。60歳以上では、「配偶者と離別・死別したままである」がやや多くなっています。



年齢別にみた結婚の状況

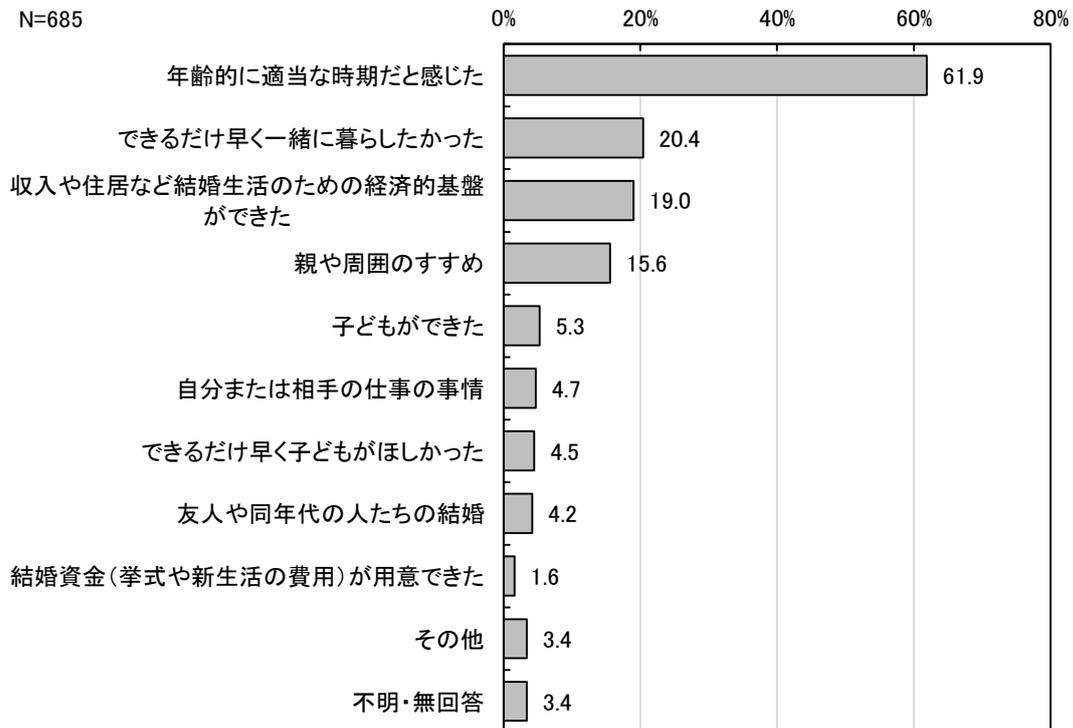


これまでに結婚したことのある方（問31で「1.」または「3.」に○をつけた方）

（2）結婚を決めたきっかけ〈複数回答〉

〔問32 あなたが結婚を決めたときの直接のきっかけは何ですか。（○は2つまで）〕

結婚を決めたきっかけについてみると、「年齢的に適当な時期だと感じた」が61.9%で最も高く、次いで「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」が20.4%、「収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた」が19.0%となっています。

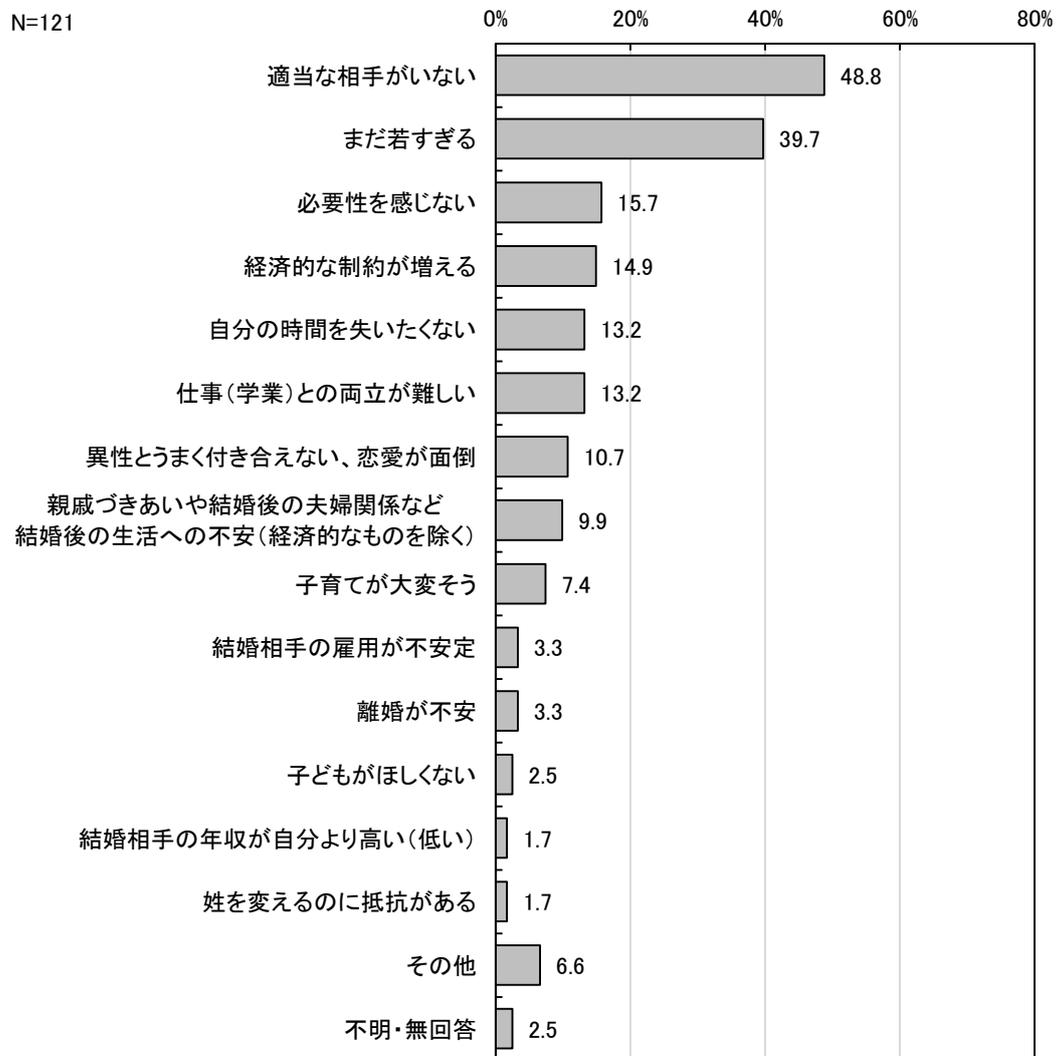


これまでに結婚したことのない方（問31で「2.」に○をつけた方）

（3）結婚しない理由〈複数回答〉

〔問33 あなたが結婚しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）〕

これまでに結婚したことのない方の、結婚しない理由についてみると、「適当な相手がいない」が48.8%で最も高く、次いで「まだ若すぎる」が39.7%となっています。



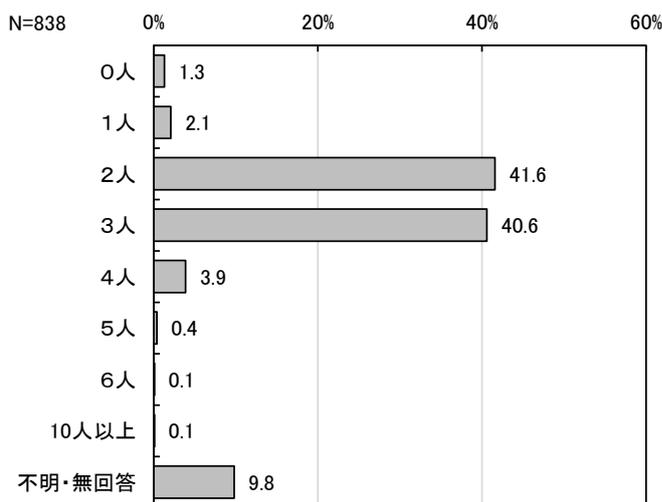
(4) 「①理想とする子どもの人数」「②実際に予定している(いた)子どもの人数」「③現在の子どもの人数」〈数量回答〉

〔問 34 あなたにとって、①理想的なお子さんの人数、②実際に予定している(いた)お子さんの人数、③現在のお子さんの人数はそれぞれ何人ですか。未婚の方も今のお考えでお答えください。(数字を記入)〕

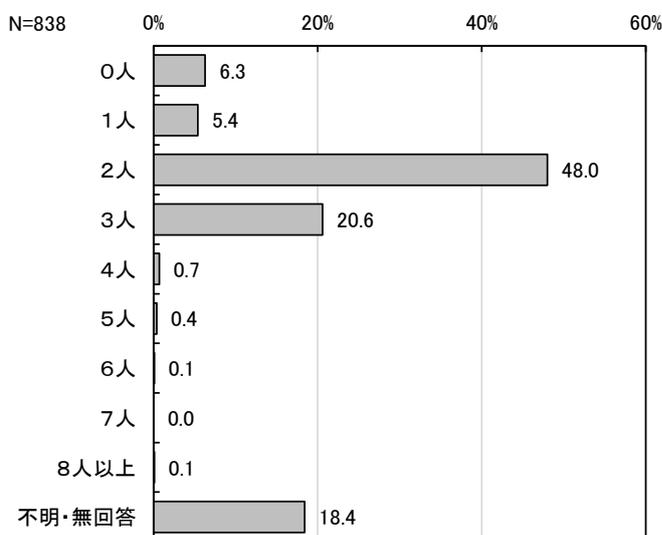
理想とする子どもの人数については、「2人」が41.6%、次いで「3人」が40.6%となっています。実際に予定している(いた)子どもの人数については、「2人」が48.0%で全体の半数近くを占めています。現在の子どもの人数については、「2人」が46.1%となっています。

① 理想の子どもの数

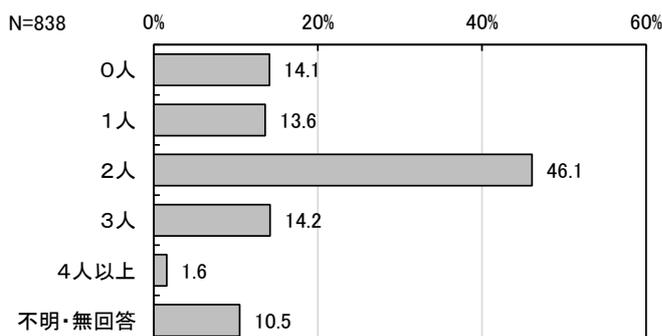
※「7人」「8人」「9人」という回答はありませんでした。



② 実際に予定している(いた)子どもの数



③ 現在の子どもの数



理想とする子どもの人数別に、予定している子どもの数と現在の子どもの数をみると、有配偶者全体では、理想の子ども数2人の場合には8割近くが2人の子どもを持っており、理想の子ども数より予定の子ども数が少ないのは1割程度にとどまっています。一方、理想の子ども数3人の場合は、約半数で予定の子ども数が少なくなっており、3人目を持つことにやや高い障壁があると考えられます。若年有配偶者については、理想子ども数が2人以上の回答者において、有配偶者全体と比較して理想子ども数より予定の子ども数が少ない比率がより高くなっており、理想と現実の開きが大きくなっていくことがうかがえます。

			回答者数	実際に予定している子どもの数						現在の子どもの数						
				0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	0人	1人	2人	3人	4人以上	無回答
理想の子ども数	回答者全体	全体	838	6.3	5.4	48.0	20.6	0.7	0.6	18.4	14.1	13.6	46.1	14.2	1.6	10.5
		0人	11	90.9	-	-	-	-	-	9.1	90.9	-	-	-	-	9.1
		1人	18	27.8	55.6	-	-	-	-	16.7	55.6	22.2	-	5.6	-	16.7
		2人	349	6.3	7.2	72.5	4.0	0.6	-	9.5	18.6	15.8	50.1	6.9	0.6	8.0
		3人	340	4.1	2.6	39.1	42.9	0.6	0.3	10.3	8.8	13.2	49.1	22.4	2.1	4.4
		4人以上	38	2.6	-	36.8	31.6	10.5	25.3	13.2	5.3	10.5	47.4	31.6	2.6	2.6
	有配偶者全体	全体	622	2.3	5.5	53.7	23.8	0.8	0.9	13.2	5.3	16.6	55.8	16.6	1.6	4.2
		0人	4	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
		1人	6	-	66.7	-	-	-	-	33.3	-	66.7	-	-	-	33.3
		2人	255	2.4	8.2	78.8	4.7	0.4	-	5.5	7.1	20.0	61.6	8.2	0.4	2.7
		3人	276	1.4	2.9	42.8	44.9	0.7	0.4	6.9	3.3	14.5	55.1	23.9	1.8	1.4
		4人以上	33	-	-	39.4	33.3	6.1	12.1	9.1	3.0	9.1	51.5	33.3	3.0	-
	若年者	全体	213	13.6	10.3	46.9	14.6	0.9	0.5	13.1	31.5	22.5	23.9	6.1	0.9	15.0
		0人	6	83.3	-	-	-	-	-	16.7	83.3	-	-	-	-	16.7
		1人	8	50.0	37.5	-	-	-	-	12.5	87.5	-	-	-	-	12.5
		2人	111	10.8	12.6	63.1	1.8	-	-	11.7	30.6	24.3	24.3	2.7	-	18.0
		3人	70	10.0	7.1	38.6	34.3	1.4	-	8.6	27.1	27.1	27.1	11.4	1.4	5.7
		4人以上	12	8.3	-	25.0	41.7	8.3	8.3	8.3	16.7	16.7	41.7	16.7	-	8.3
若年有配偶者	全体	125	3.2	13.6	57.6	19.2	1.6	0.8	4.0	8.0	38.4	37.6	9.6	1.6	4.8	
	0人	1	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
	1人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2人	59	3.4	20.3	72.9	1.7	-	-	1.7	6.8	45.8	40.7	3.4	-	3.4	
	3人	52	1.9	9.6	50.0	36.5	1.9	-	-	7.7	36.5	36.5	15.4	1.9	1.9	
	4人以上	9	-	-	33.3	44.4	11.1	11.1	-	11.1	22.2	44.4	22.2	-	-	

※若年者は39歳以下。理想の子ども数より予定している子ども数が少ない部分に網掛け。

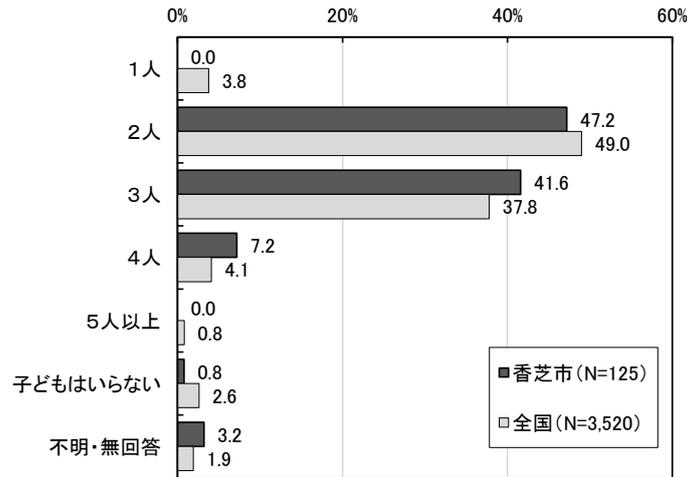
若年世代の有配偶者における、理想の子ども数、予定している子ども数、現在の子ども数を、全国調査と比較すると、理想子ども数については、香芝市では「2人」がやや少なく、「3人」、「4人」が多く、全体として全国調査よりやや多くの子どもを持つことを理想と考える傾向にあります。

一方、実際に予定している子ども数については、「1人」がやや多く、「3人」がやや少なくなっており、全国調査よりやや少ない数を予定しています。

現在の子ども数についても、「子どもはいない」は全国より少ないものの、「1人」が多く、「2人」、「3人」がやや少なくなっており、全体として1世帯当たりの子どもの数は少なくなる傾向が見られます。理想に対して実際には少ない子ども数になっている家庭が多いと考えられます。

① 理想の子ども数

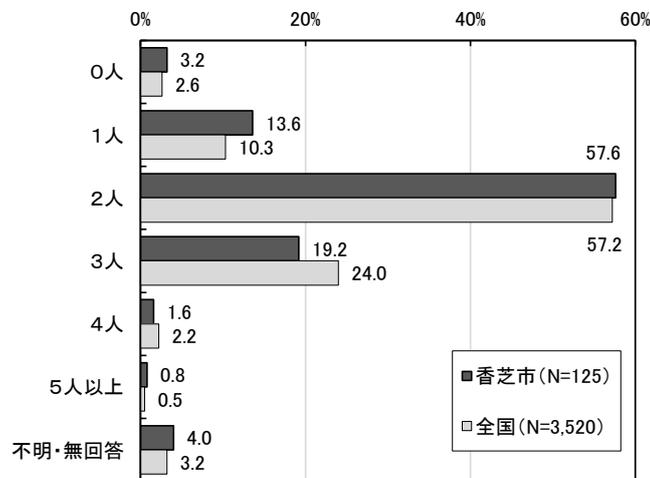
(39歳以下有配偶者)



② 実際に予定している

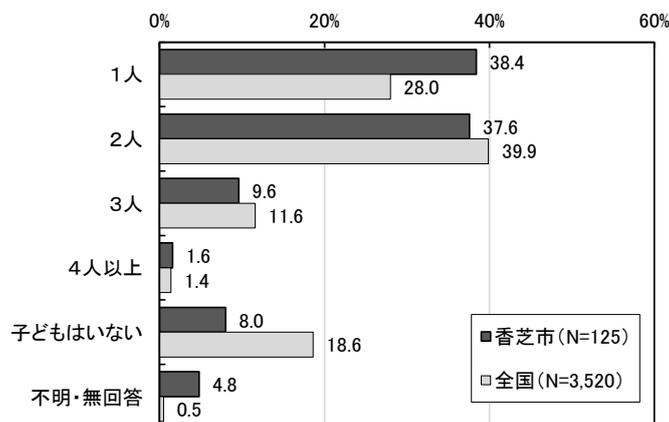
(いた) 子どもの数

(39歳以下有配偶者)



③ 現在の子ども数

(39歳以下有配偶者)



※全国調査の結果については、国立社会保障・人口問題研究所「第14回出生動向基本調査(2010年)」における同様の設問の回答状況を参照しています(以下同様)。

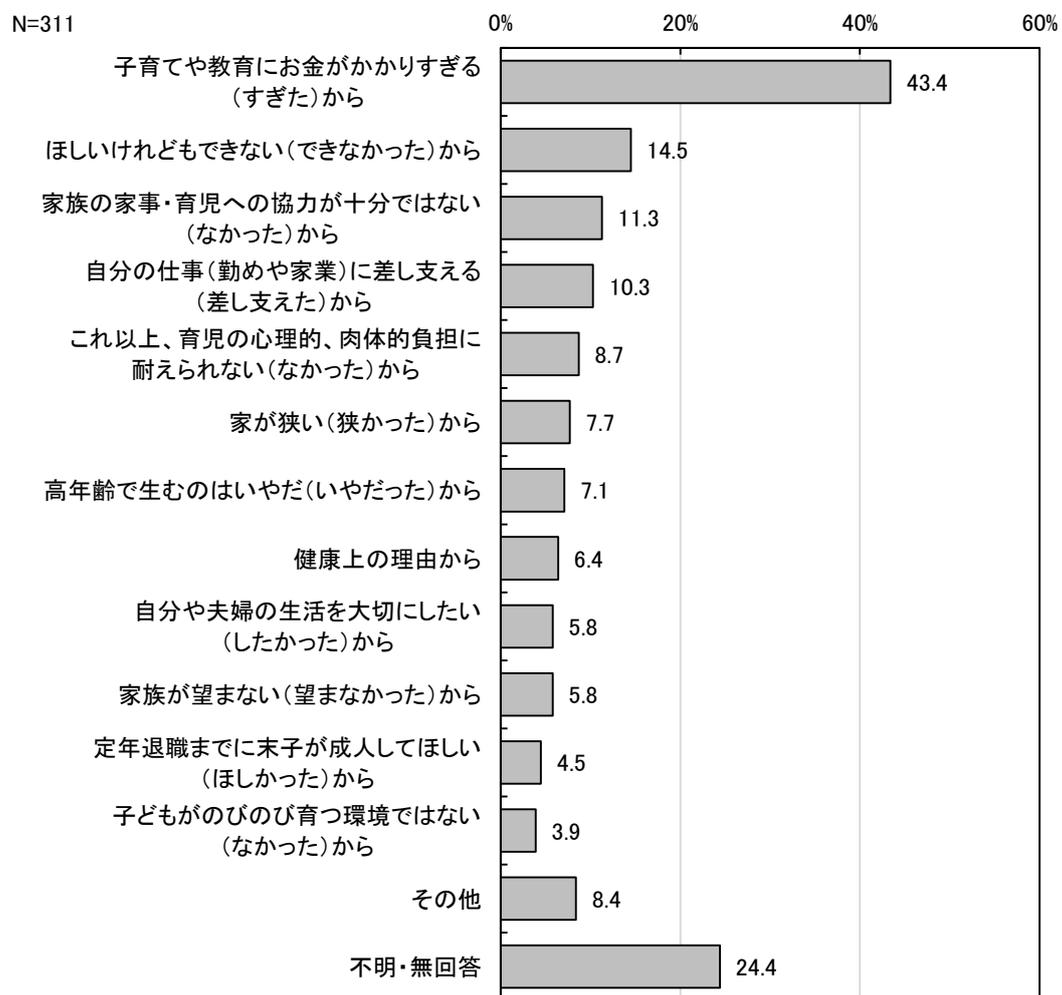
理想の子どもの数よりも実際に予定している(いた)子どもの数が少ない方(問 34 で①より②が少ない方)

(5) 理想より少ない子どもの数になった理由〈複数回答〉

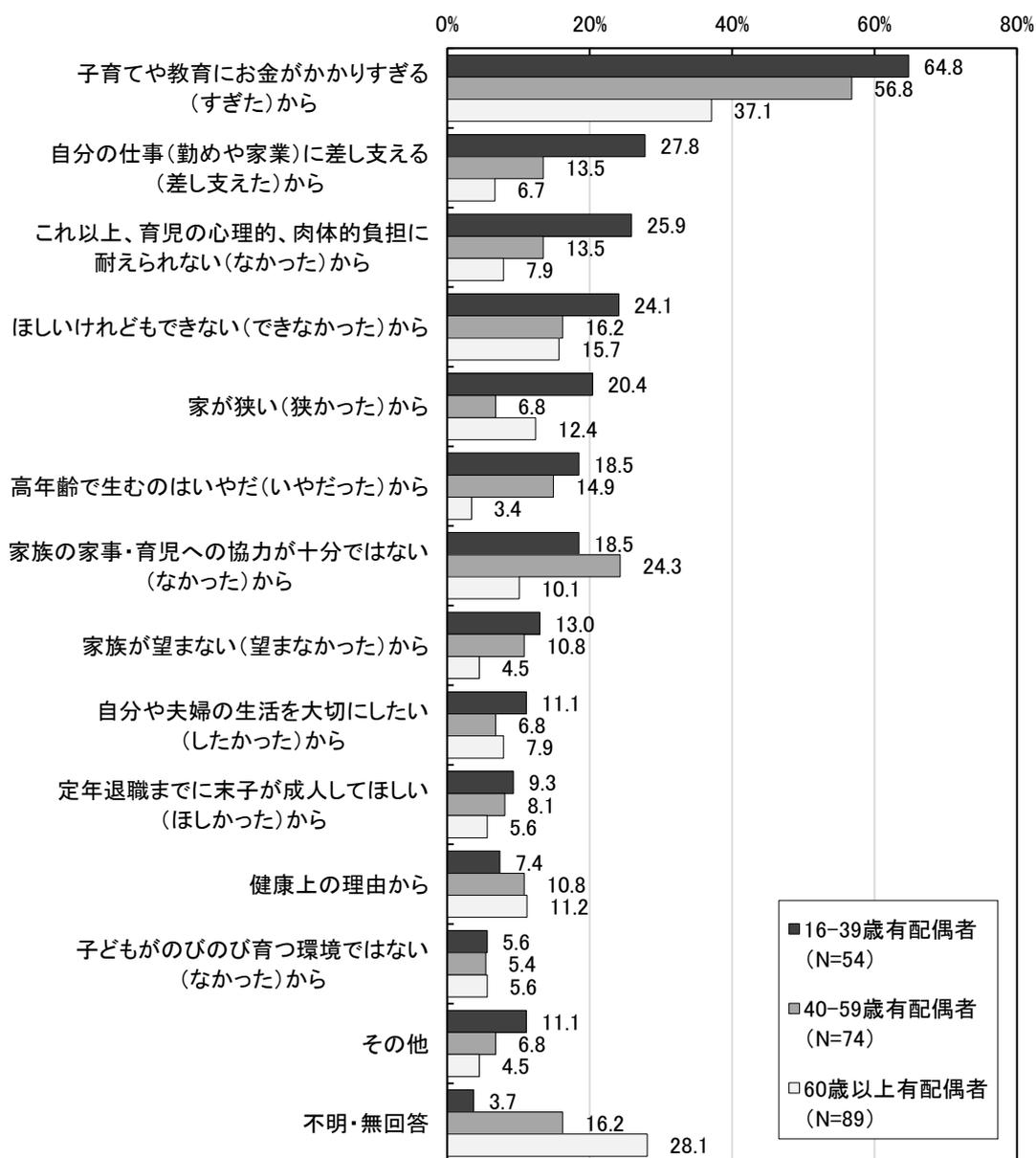
〔問 35 お子さんの数が理想の人数より少ないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)〕

理想より少ない子どもの数になった理由についてみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎる(すぎた)から」が43.4%で最も多く、次いで「ほしいけれどもできない(できなかった)から」が14.5%、「家族の家事・育児への協力が十分ではない(なかった)から」が11.3%となっています。

有配偶者について、年齢別にみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎる(すぎた)から」は若い世代ほど多く回答されており、「自分の仕事(勤めや家業)に差し支える(差し支えた)から」、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられない(なかった)から」も同様の傾向が見られます。「家族の家事・育児への協力が十分ではない(なかった)から」は40-59歳でやや多くなっています。



年齢別にみた有配偶者の理想より少ない子ども数になった理由



(6) 自分の子どもをどのように育てたい(育てたかった)か〈複数回答〉

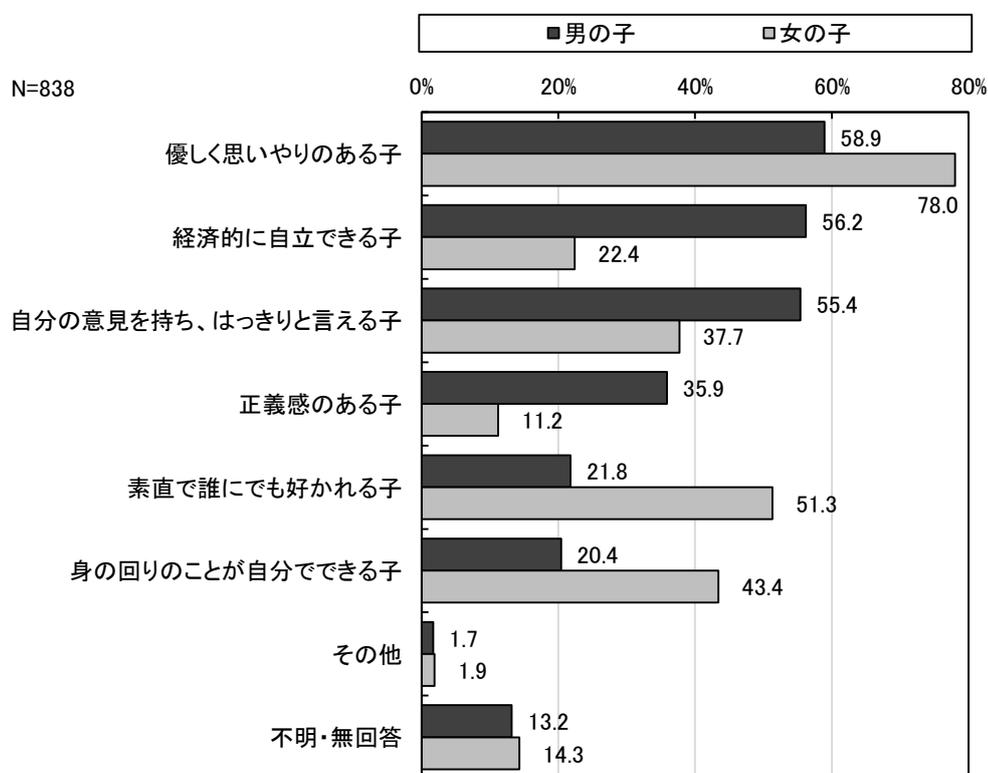
[問 36 あなたは自分の子どもをどのように育てたい(育てたかった)ですか。①男の子について、②女の子について、それぞれあてはまるものを3つまで選び、()に数字を記入してください。子どものいない方、子育てを終えられた方もお答えください。]

自分の子どもをどのように育てたい(育てたかった)かについてみると、男の子・女の子ともに「優しく思いやりのある子」が最も高く、それぞれ58.9%、78.0%となっています。

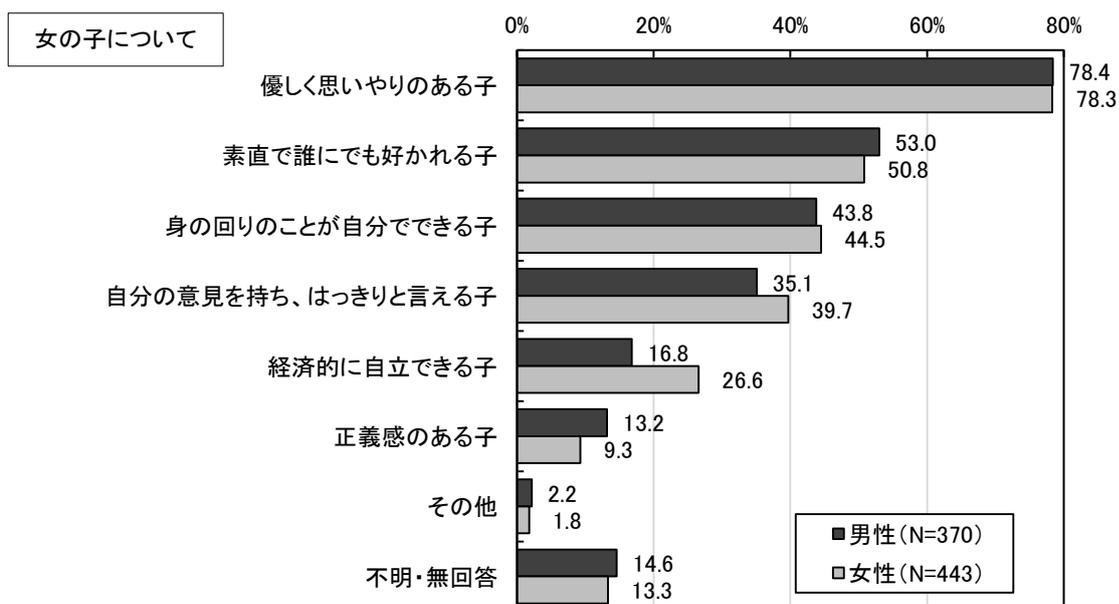
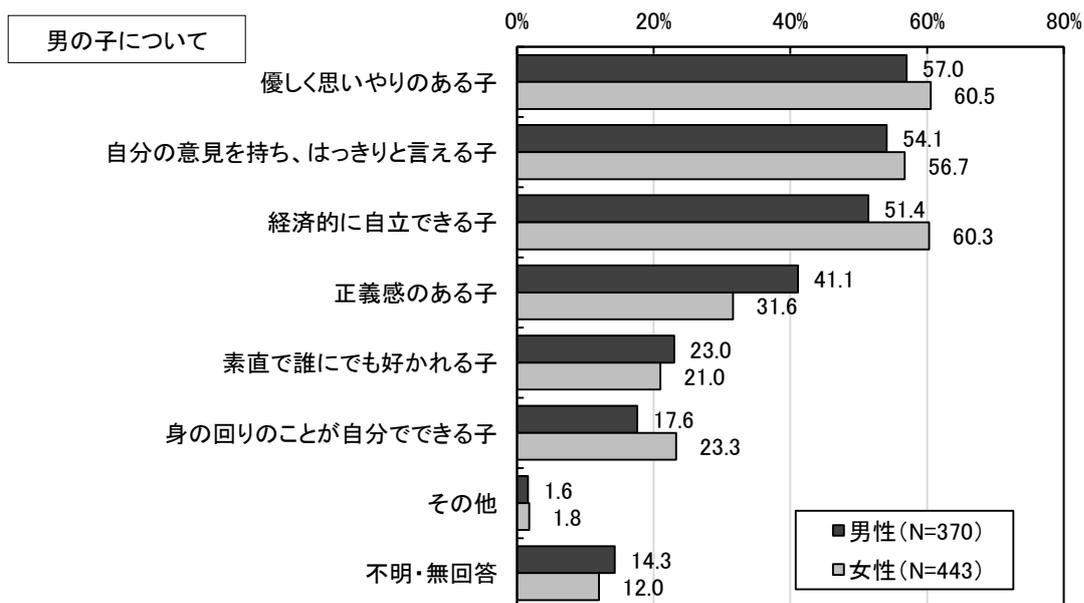
男の子については、次いで「経済的に自立できる子」が56.2%、「自分の意見を持ち、はっきりと言える子」が55.4%となっています。

女の子については、「素直で誰にでも好かれる子」が51.3%、「身の回りのことが自分でできる子」が43.4%と続いています。

回答者の男女別にみると、それほど大きな差は見られませんが、「経済的に自立できる子」は女性、「正義感のある子」は男性にやや多くなっています。



男女別にみた自分の子どもをどのように育てたいか

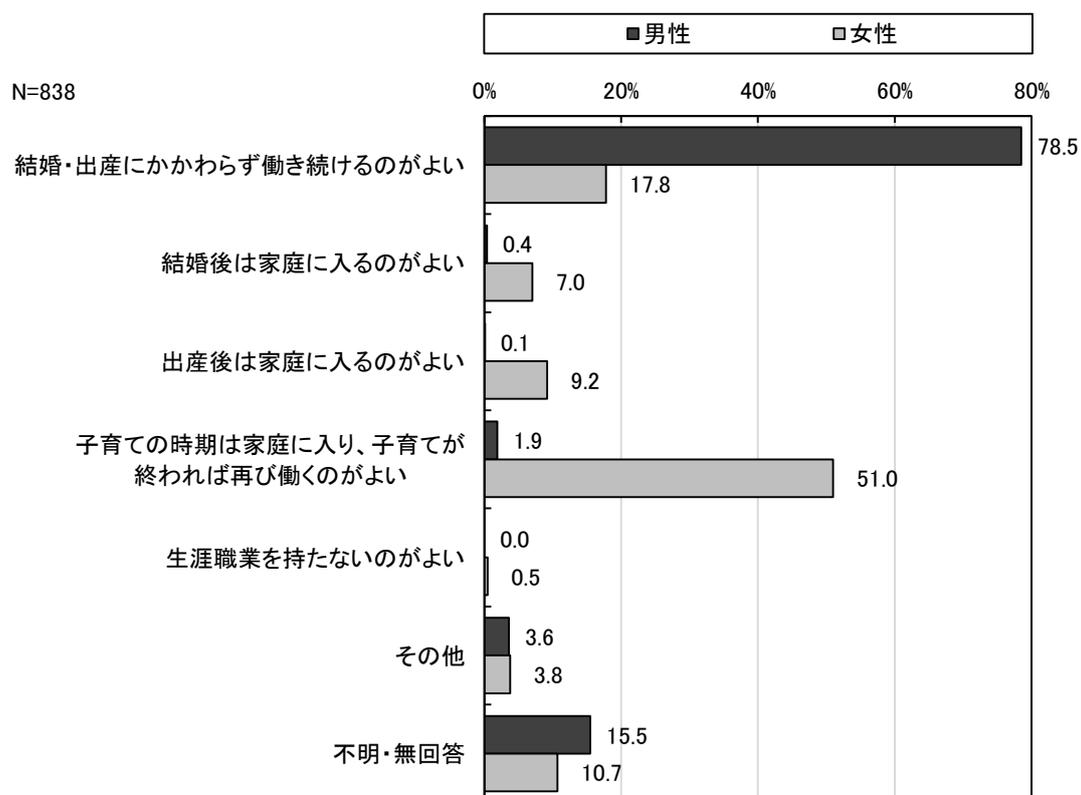


(7) 仕事と結婚・子育てに対する考え〈複数回答〉

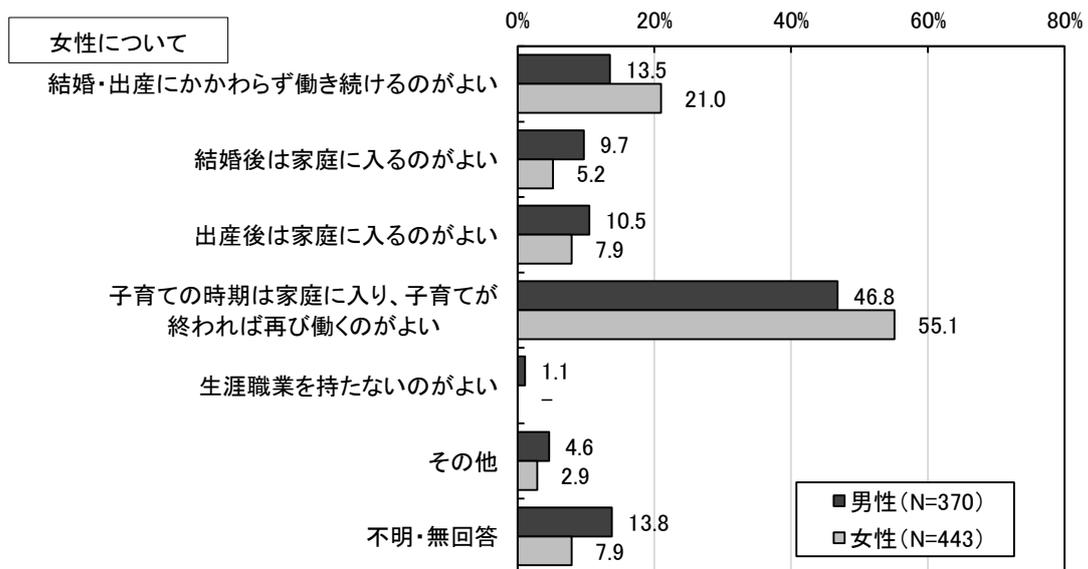
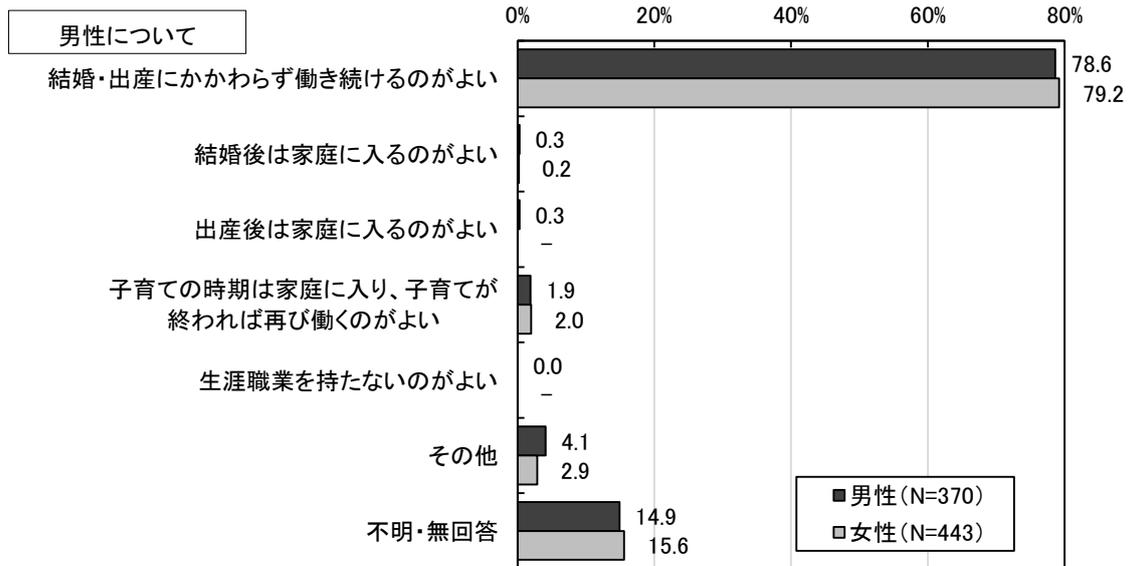
[問 37 仕事と結婚・子育てについて、あなたはどのように考えますか。①男性について、②女性について、それぞれあてはまるもの1つを()に数字で記入してください。]

仕事と結婚・子育てに対する考えについてみると、男性については「結婚・出産にかかわらず働き続けるのがよい」が78.5%、女性については「子育ての時期は家庭に入り、子育てが終われば再び働くのがよい」が51.0%で、それぞれ最も高くなっています。

男女別にみると、男性については男女の回答にほとんど違いは見られません。女性については、「結婚・出産にかかわらず働き続けるのがよい」、「子育ての時期は家庭に入り、子育てが終われば再び働くのがよい」は女性で多く、「結婚後は家庭に入るのがよい」、「出産後は家庭に入るのがよい」はやや男性で多くなっています。



男女別にみた仕事と結婚・子育てに対する考え



（８）男性と女性が育児に共に参画できる環境をつくるために、特に必要だと思うこと 〈複数回答〉

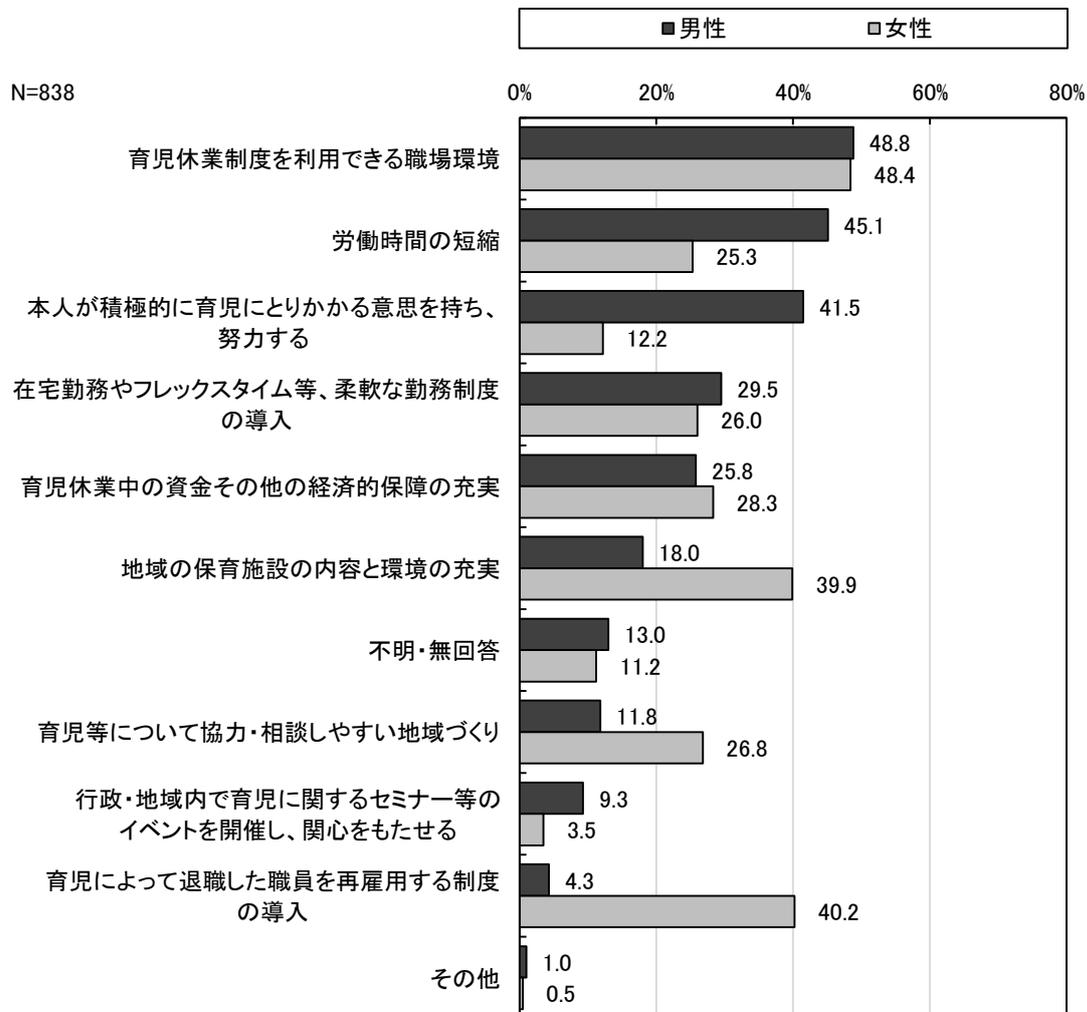
〔問 38 男性と女性が、育児に共に参画できるような環境をつくるには、特にどのようなことが必要だと考えますか。〕

①男性について、②女性について、それぞれあてはまるものを3つまで選び、()に数字を記入してください。〕

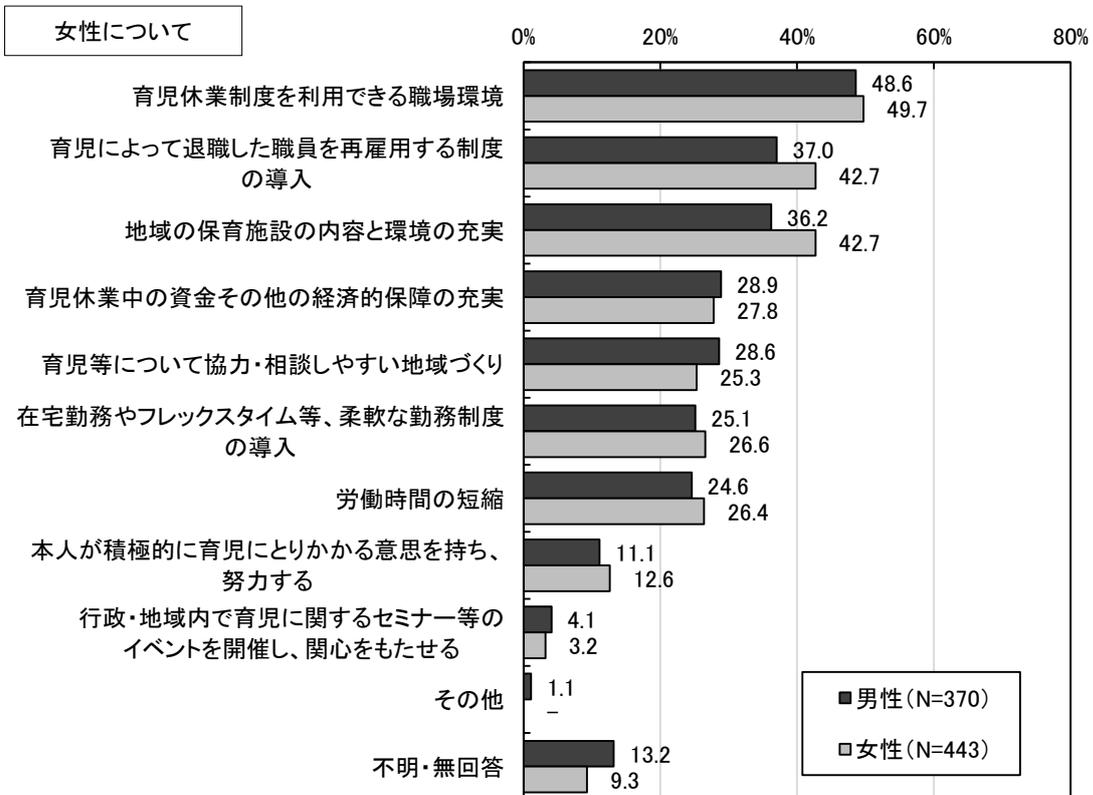
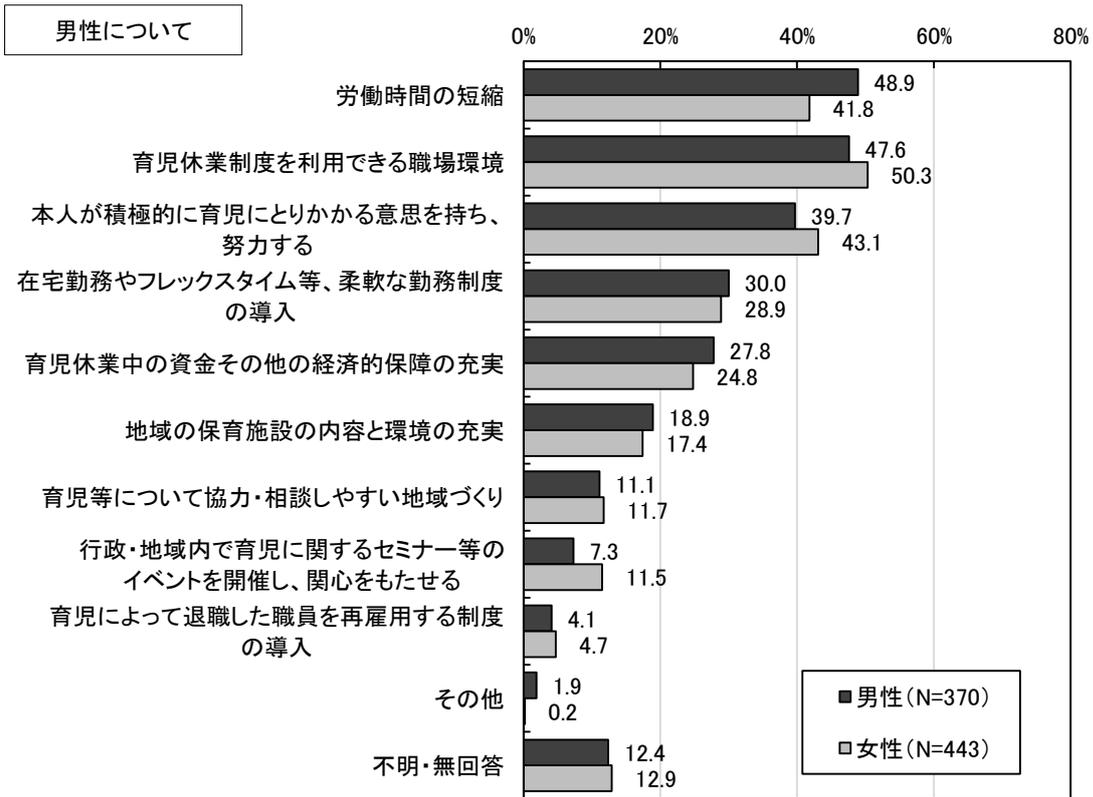
男性と女性が育児に共に参画できる環境をつくるために、特に必要だと思うことについてみると、男性・女性ともに「育児休業制度を利用できる職場環境」がそれぞれ48.8%、48.4%で最も高くなっています。

次いで、男性については「労働時間の短縮」が45.1%、「本人が積極的に育児にとりかかる意思を持ち、努力する」が41.5%と続いています。女性については、「育児によって退職した職員を再雇用する制度の導入」が40.2%、「地域の保育施設の内容と環境の充実」が39.9%と続いています。

回答者の男女別にみると、男性については「労働時間の短縮」で男性の回答がやや多くなっています。女性については、育児によって退職した職員を再雇用する制度の導入、「地域の保育施設の内容と環境の充実」で女性の回答がやや多くなっています。



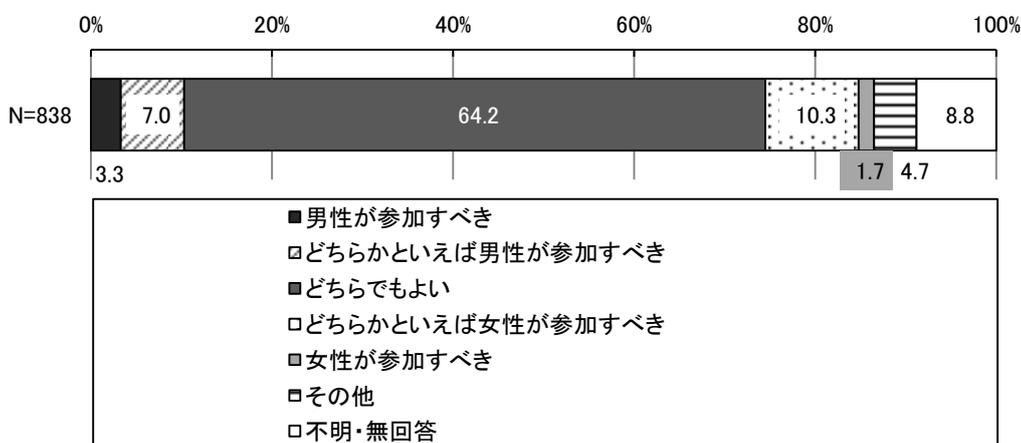
男女別にみた男女が育児に参画するために特に必要だと思うこと



(9) 学校やPTA等、子どもに関する行事・会議等に対する考え〈単数回答〉

〔問 39 学校やPTA等子どもに関する行事・会議等について、基本的にどのようにお考えですか。(1つに○)〕

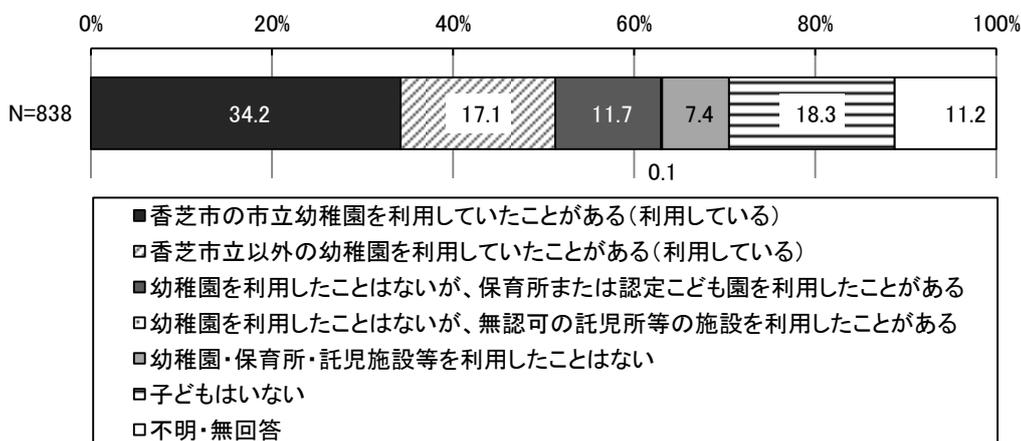
学校やPTA等、子どもに関する行事・会議等に対する考えについてみると、「どちらでもよい」が64.2%で最も多く、全体の3分の1近くを占めています。次いで「どちらかといえば女性が参加すべき」が10.3%、「どちらかといえば男性が参加すべき」が7.0%となっています。



(10) 市立幼稚園の利用状況〈単数回答〉

〔問 40 あなたの子どもは、市立幼稚園を利用していたことがありますか(利用していますか)。(1つに○)〕

回答者の子どもの市立幼稚園の利用状況についてみると、「香芝市の市立幼稚園を利用していたことがある(利用している)」が34.2%で最も多く、次いで「子どもはいない」が18.3%、「香芝市立以外の幼稚園を利用していたことがある(利用している)」が17.1%となっています。



(11) 香芝市の市立幼稚園の今後の運営に対する考え〈単数回答〉

〔問 41 香芝市は、年少人口割合が比較的多い市ですが、近い将来には少子高齢化を迎えることは避けられません。また、就学前子ども(0歳～5歳)数についても、平成 19 年度をピークに減少傾向となっております。一方で、希望する全ての就学前子どもが、幼稚園や保育所等を利用する環境を整備することが求められています。

平成 27 年5月1日現在、香芝市の市立幼稚園9園(定員 1,645 人)には 704 人の子どもが在籍しています。

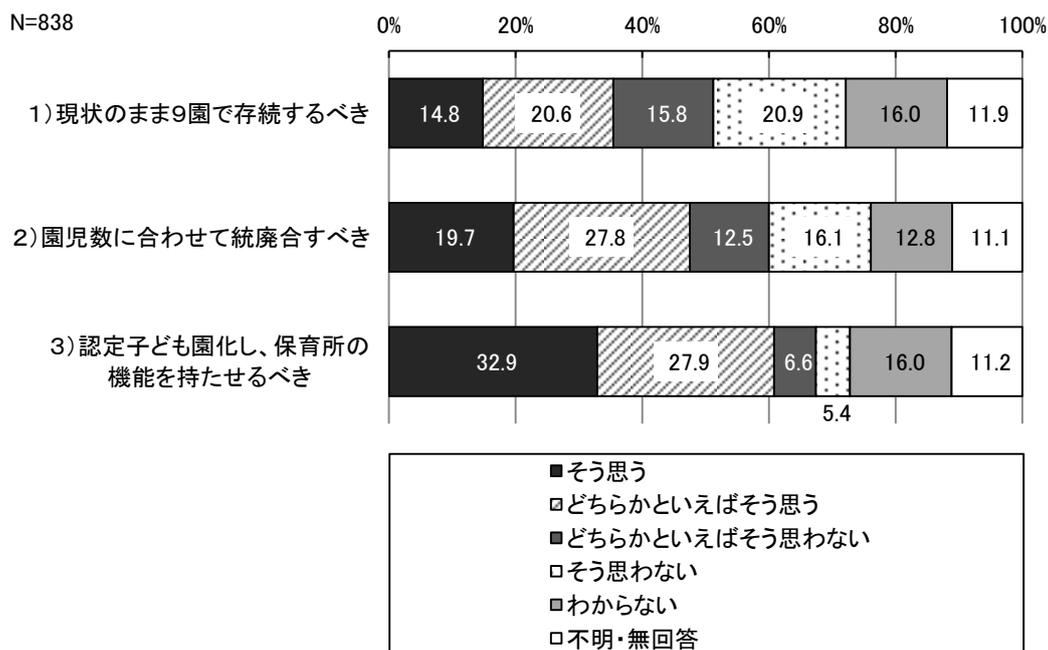
香芝市の市立幼稚園について、今後どのような運営をしていくべきだと思いますか。〕

香芝市の市立幼稚園の今後の運営に対する考えについてみると、『現状のまま9園で存続するべき』については、「そう思わない」が 20.9%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 20.6%となっています。

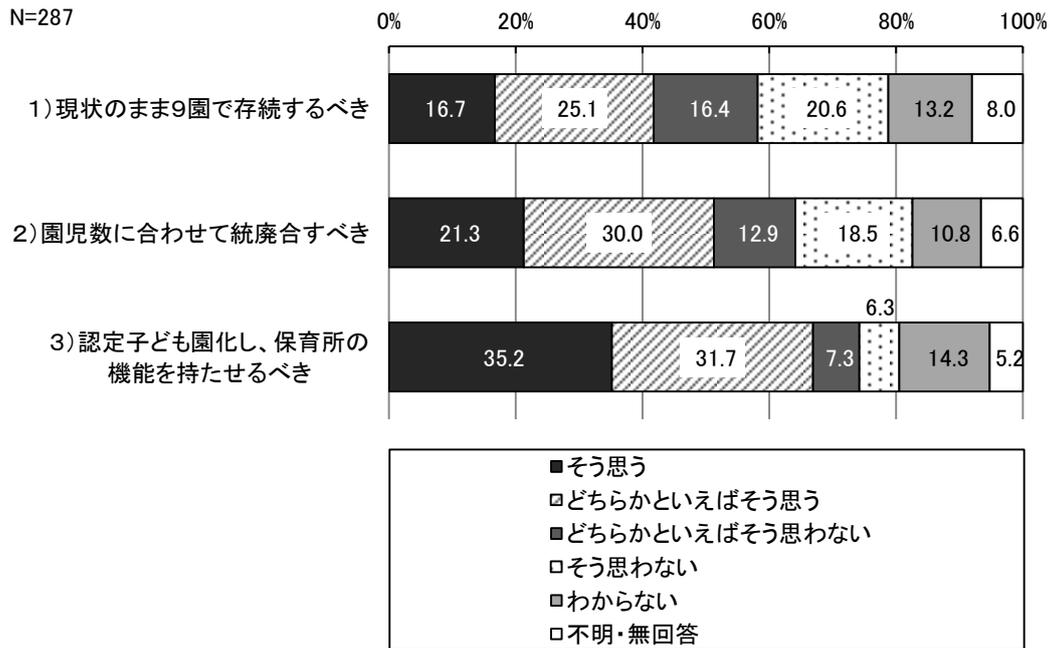
『園児数に合わせて統廃合すべき』については、「どちらかといえばそう思う」が 27.8%で最も多く、次いで「そう思う」が 19.7%となっています。

『認定子ども園化し、保育所の機能を持たせるべき』については、「そう思う」が 32.9%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.9%となっています。

問 40 で「香芝市の市立幼稚園を利用していたことがある(利用している)」と回答した人のみの回答を抽出したところ、「不明・無回答」が少なくなっていますが、回答の傾向にはあまり違いが見られませんでした。



市立幼稚園の今後の運営に対する考え（市立幼稚園利用経験者）



5 アンケート調査（総合戦略関係分）のまとめ

（１）就職・転職と居留意向について

今後就職・転職を考えている人は若年者（39歳以下）の約半数を占めますが、そのうち香芝市から通える範囲での就業を希望する人が8割を超えています。しかし、就業先が見つからない場合については、そのうちの半数は住まいを移すと回答しており、関西圏、または住む場所はこだわらないという回答が多くなっています。香芝市にこれからも住み続けたいと思うかどうかについても、若年者については「住み続けたい」と「わからない」がそれぞれ4割ほどの回答となっており、香芝市での生活をとりあえずは望みつつも、就職等の状況によっては市内での生活に必ずしもこだわらない若年者の傾向がうかがえます。

また、香芝市から通える範囲での就業を希望しない人については、回答者数はそれほど多くありませんが、将来的に香芝市に戻ってくることについて、「戻ってきたいとは思わない」または「いつになるかはわからないが、いつかは戻ってきたい」という回答が多くなっており、積極的に香芝市を離れた人にとって、近い将来のUターンはあまりイメージされていないようです。

若年者に限らず、住民の大多数は他市からの転入を経験しており、またそのうちの約半数は「いろいろ検討した結果、香芝市に住むことにした」と回答しています。本市での生活に利点や魅力を感じ、積極的な選択の結果として居住している人が多いと考えられます。環境や利便性といった生活の場としての魅力を維持・向上することで、選ばれるまちとしての地位を守ることで、さらなる発展を期することができると考えられます。

（２）結婚・出産について

これまでに結婚したことがない人の結婚しない理由をみると、半数近くが「適当な相手がいない」と回答しており、出会いの場出会いの場づくり等の支援により、有配偶率を高める余地はあると考えられます。ただ、本市の若年層の有配偶率はもともと全国・県平均よりかなり高い水準にあります。

有配偶の若年層についてみると、理想の子ども数は、全国調査よりやや多い傾向があるにも関わらず、実際に予定している子ども数は、全国調査と少ない傾向が見られます。現在の子ども数については、子どものいない夫婦が少ない一方で、1世帯当たりの子どもの数は少なくなっています。

理想より予定の子ども数が少なくなる原因としては、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」という回答が若年層で6割を超えており、若い世代ほど経済的な負担を感じていることがうかがえます。他にも、「自分の仕事に差し支える」、「育児の心理的、肉体的負担に耐えられない」という回答が若い世代では2割を超えており、経済的支援、仕事と育児の両立支援、育児負担の軽減等、幅広い育児支援のニーズがあることがうかがえます。

（３）出生率について

本調査において、若年者（39歳以下）の有配偶者（問31「結婚している」）の理想子ども数（問34①）、予定子ども数（問34②）、現在の子ども数（問34③）、独身者（問31「結婚したことはな

い) または「配偶者と離別・死別したまま」の理想子ども数(問 34①)、現在の子ども数(問 34③)の平均値は以下の表の通りです(独身者の予定子ども数については全国調査では尋ねておらず、本調査でも無回答が多いため分析から除外しました)。全国調査と比較すると、理想子ども数は全国より高くなっており、全国的な状況と比較して香芝市の若年者は、子どもを多く持つことを希望していることがうかがえます。一方で、予定の子ども数は全国より少なくなっています。

この結果から香芝市の若年世代のコーホート合計特殊出生率(同一世代に属する女性が一生に生む子どもの数)を推計すると、1.71 となり、さらにこの世代の理想が十分かなえられると仮定した場合は 2.36 まで上昇します。人口動態保健所・市町村別統計によると、平成 20 年から平成 24 年の香芝市の合計特殊出生率は 1.57 となっており、今後上昇の余地があると考えられます。

有配偶者	理想子ども数	予定子ども数	現在の子ども数
香芝市	2.56	2.06	1.56
全国	2.41	2.15	1.49

独身者	理想(希望)子ども数	現在の子ども数
香芝市	2.07	0.18
全国	1.86	-

※いずれも 39 歳以下の回答で比較。全

国調査では独身者については「希望の子ども数」と表現されている。なお、全国調査については、有配偶者の年齢は妻の年齢を基準としているため、本調査とは若干のずれがあることが考えられる。

◎本調査から算出される若年者(39歳以下)のコーホート合計特殊出生率の推計値

※有配偶者については予定子ども数が達成されると仮定。独身者については、出生子ども数に加えて、希望子ども数の半分が達成されると仮定。

若年者(39歳以下)合計特殊出生率

$$= \{A \times C + (D + E \times 0.5) \times F\} / (C + F)$$

$$= \{2.06 \times 125 \text{ 人} + (0.18 + 2.07 \times 0.5) \times 87 \text{ 人}\} / (125 \text{ 人} + 87 \text{ 人}) = \underline{1.71}$$

◎若い世代の希望がかなえられた場合のコーホート合計特殊出生率の推計値

※有配偶者については理想子ども数が達成され、独身者については希望子ども数が達成されると仮定。

若年者(39歳以下)の合計特殊出生率

$$= (B \times C + E \times F) / (C + F)$$

$$= (2.56 \times 125 \text{ 人} + 2.07 \times 87 \text{ 人}) / (125 \text{ 人} + 87 \text{ 人}) = \underline{2.36}$$

A : 有配偶者予定子ども数(問 31②)

D : 独身者出生子ども数(問 34③)

B : 有配偶者理想子ども数(問 34①)

E : 独身者理想子ども数(問 34①)

C : 有配偶者数(問 31)

F : 独身者数(問 31)

(4) 総合戦略に向けた知見

本調査結果からえられた、総合戦略の構想において有益な知見は以下の通りです。

- 香芝市から通える範囲での就業を容易にすることで、市内に居住し続ける若年者の増加が見込めます。
- 市外からの転入を経験した人が市民の多数を占めており、その半数は積極的な選択の結果として本市への転入を決めています。これまで評価されてきた居住環境を維持・向上させることが、人口の維持にあたって重要な課題となります。
- 就職で市を離れた若者におけるUターン支援のニーズはあまり高くないと考えられます。
- 若者の流出については、一定程度やむを得ないものと考えられ、むしろベッドタウンとしての魅力を高めることで、新規移住者を獲得していく方向での取り組みが重要だと思われます。
- 全国的な傾向と比較して、香芝市においては、出産に関する若者の希望と現実の乖離が大きくなっており、幅広い出産・子育て支援のニーズがあることがうかがえます。
- 現在の若年層が実際に予定している出産がある程度かなえられることで、出生率は若干の改善が見込まれます。また、若者の希望が十分になう環境を整備することで、出生率にはさらなる上昇の余地があると考えられます。

以上を勘案し、ベッドタウンとして発展してきた本市の現状を踏まえると、女性の就労支援や仕事と家庭の両立の支援を含む、幅広い子育て支援を実施することにより、ベッドタウンとしての魅力をさらに高め、若者が住みたいと思えるまちづくりを行うことが、本市の人口の増加・維持の施策において中心的な課題となると考えられます。また、市内での雇用環境・居住環境を整えることは、まちの魅力を高め、転入者を増やすことにつながると考えられます。これまで多くの転入者を引き付けてきた選ばれるまちとしての地位を維持することで、継続的な発展が期待されます。